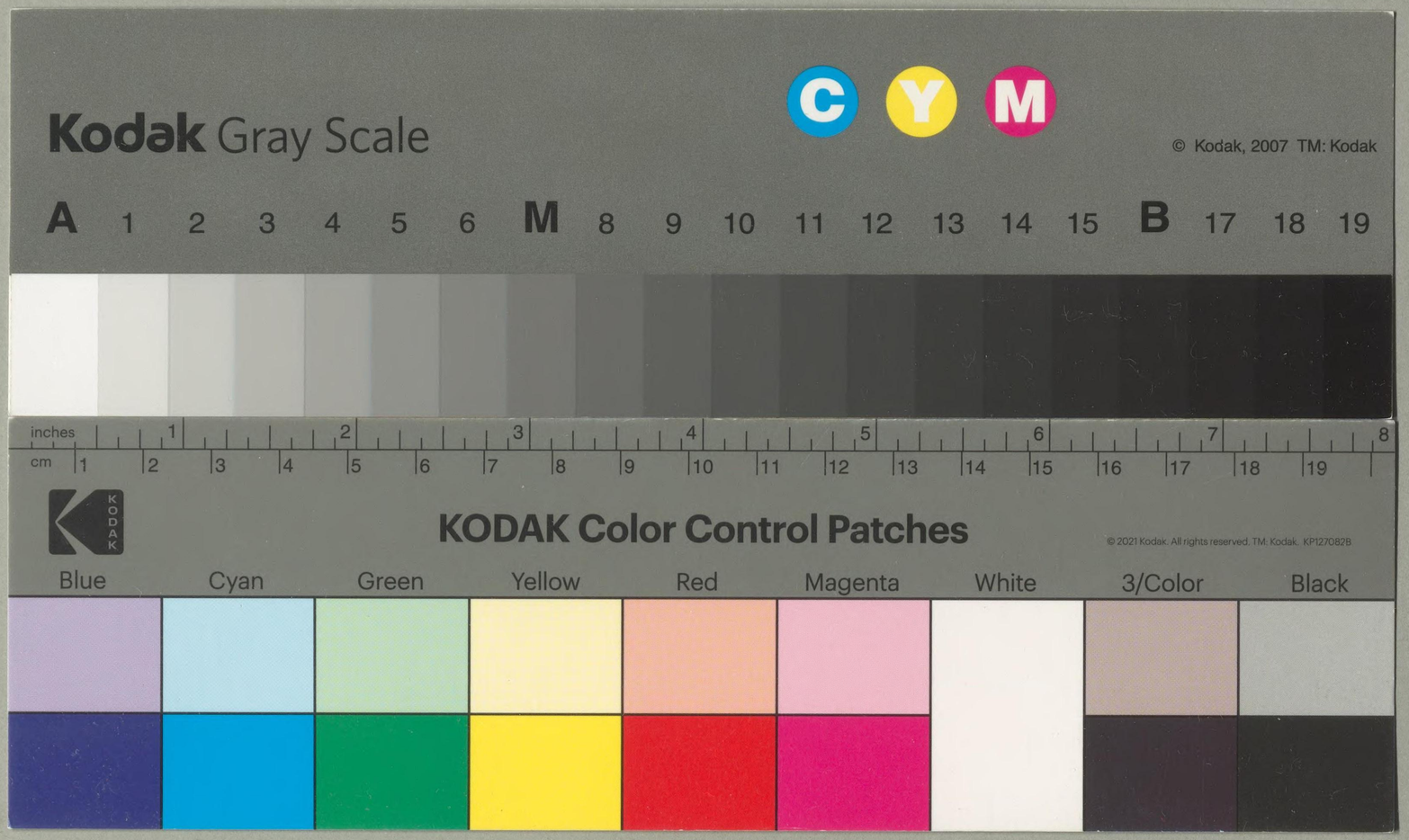
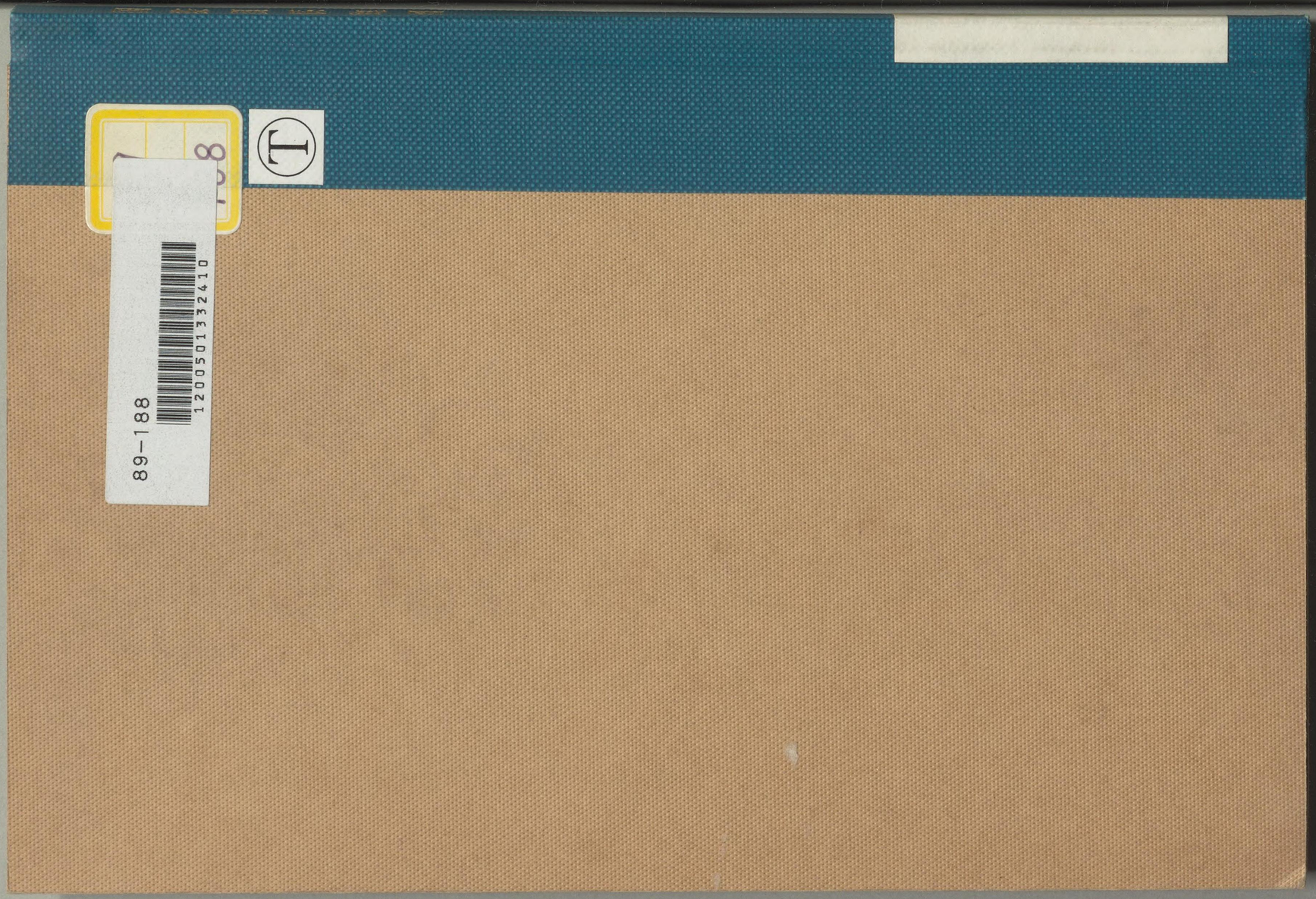



89-188
12005013324 10

IL2T64

第貳 國際關係地圖

外交時報社編

大正
2. 10. 27
内交

凡例

一、現今國際間の問題となり若くは其注意を引ける世界各國、各地方の特殊地圖十九葉を集めて、此一冊を成す

一、佛蘭西語に慣れざる讀者の爲めに小凡例を作る

佛國西語小凡例

一、a (ア) i, ï (イ) e, eu, œu (ウ) é, è, ê, ai, ei (エ、エー) o, eau, au (オ、オー) u (ユー)
用例 Ouadaï (ウアダイ) Tripolitaine (トリポリテーヌ) Méditerranée (メヂテラネ、地中海)

一、Che (シュ) que (ク) gue (ュユ) in (ヱン) en un, (アン) gue (グ)
用例 Autriche (オートリッシュ) Belgique (ベルジック) Allemagne (アルマーニュ)

三、母音の間に S 一字挟まる時は Z の發音となる。
用例 Asie (アジー、亞細亞)

四、語尾 e は概ね發音せず、英稱の a は佛稱にて概ね e になる。
用例 Sibérie (シベリー、西伯利亞) Saloniques (サロニック、サロニカ)

形容詞は名詞の次に置かる。
例 Océan Pacifique, (太平洋)

主なる地理的名詞左の如し

mer (海) mont (山) montagne (山脈) lac (湖) rivière (河) océan (洋) côte (海岸)
Est (東) oriental (東の) Ouest (西) occidental (西の) Sud (南) méridional (南の) Nord (北)
septentrional (北の)
et (及) de (の)

一九二三年十月

外交時報社編輯部

第二國際關係地圖目次

1 支那鐵道列強關係圖
2 滿洲鐵道日露關係圖
3 支那各省物產圖（說明略）
4 滿蒙住民分布圖
5 露國配兵圖
6 黑龍江鐵道線路圖
7 烏蘇里地方植民地圖
8 中央亞細亞鐵道圖
9 露國各種族分布圖
10 澳太利匈牙利人種地圖
11 巴爾幹新國境圖
12 トラス人種別地圖
13 アルメニア人分布圖
14 地中海地圖
15 印度支那圖
16 瓜哇交通圖
17 スマトラ物產圖
18 比律賓主要物產圖
19 濠洲新交通地圖（附人口分布圖）

89
188

第二國際關係地圖說明

(1) 支那鐵道列強關係圖

老大不振、爲めに列強野心の餌となれるもの、西に土耳古あり、東に支那あり。固より此等列強たる、懸軍長驅、鐵血を以て四百餘州を切り取らんとするに非ず、其文明と其財力とを以て、所謂華夏の中國に臨む。固より現代支那人の文明は、亞細亞土耳古又は亞弗利加の土人のそれに優ること萬々なりと雖も、其經濟上の慾望に至りては、前者遙かに後者の度を超ゆ、卽ち支那人たる經濟萬能なり、帝王の政治的權威と雖も、之を屈する能はじ、卽ち其住する地方を通過する鐵道にして、彼等に種々の經濟的利便を與へなば、其鐵道は以て財的一王國を形成するを得ん。而して吾人の玆に說かんとするは、所謂支那本部に限る、滿洲に就きては別に是あり。

列強の支那鐵道に對する關係は、其所有に屬するものと、借欵其他に依り關係を結べるものとの別あり、又等しく借欵なりと雖も一國が其全額を引受け居るものと、數國合同して引受け居るものとの別竝びに其借欵が鐵道資本金の全部なるものと一部分に止まるものとの別あり。更に敷設を終れるものと、未だ敷設を終了せざるもの、既に支那政府の許可を得居るも、單に計畫に止まるもの、未だ許可を經ず

目下交渉中に屬するものとの別あり。然れども既設にせよ、未設にせよ、此等鐵道の位置及趨向は、以て列強各々の支那に對する經濟上若くは政治上の野心を語るものなくんば非ず。

英國の自ら所有するものは廣九鐵路中の九龍深圳間（卽ち英國の九龍租借地內）二十二哩に過ぎずと雖も、借款に依り關係せる鐵道の延長に於ては列強中第一に居る。其一は京奉鐵路（既設）にして借款額三百三十萬磅、債權者は香港上海銀行なり。其二は南甯鐵路（上海南京間既設）、借款額二百九十萬磅、債權者は英支組合（British and Chinese Corporation）なり。其三は京漢鐵道なり、是は香港上海銀行と印度支那銀行（佛蘭西の）とよりの借款、額五百萬磅なり。其四は津浦鐵路（既設）の南段卽ち利國浦口間二百二十九哩にして、借款額三百五十萬磅、債權者は華中鐵路公司なり。其五は粵漢（廣東漢口間）鐵路にして、一九〇五年、時の湖廣總督が英國香港政廳より百十萬磅を借入れ、以て米國の支那開發會社より其敷設權を回收せるもの、而も其敷設完成資金は千九百十一年五月二十日の英獨佛米四國銀行團との借款契約に依り、概ね英國の香港上海銀行より仰ぎ、其技師長亦英人を以てせんとするものゝ如し。卽ち其二より其五に至る各鐵道は英國の長江に於ける勢力を代表するものに非ずして何ぞ。之を外にして滇緬鐵路計畫あり、騰越より永昌、大理、楚雄を經て雲南府に出でんとするもの是なり。更に曲靖、宣威、永寧、瀘を經由して成都に至らんとする蜀鐵路計畫あり、又英國は騰越より大理の西なる片馬を經て直ちに成都に達する鐵道を敷設せんとするの意あり。是れ卽ち英國が緬甸方

面の南疆より北方長江流域に衝き出さんとするの勢を示すものなり。

獨逸は其鐵道經營を山東省に集中す、膠濟鐵路（青島濟南間）二百五十五哩は華德膠濟鐵路公司が資本五千四百萬克を投じて敷設經營せるもの。又之に伴ひて膠沂鐵路（膠州より起り左の方沂州府に出で萊蕪縣を經て濟南府に達す）あり、其建設費八百萬兩は德華銀行の斡旋に依り伯林市場に於て募集せられ近く敷設の運びに至るべし。津浦鐵路に於ては獨逸は天津利國間三百八十六哩の敷設及六百五十萬磅出資の任に當れり。獨逸資本は京漢鐵路（既設）と粵漢川漢鐵路（未設）とにも參加せり。尙ほ最近の消息に據れば獨逸のカーロウイツ商會は雲南都督との間に、雲南府より曲靖、羅平を經て貴州省に入り、興義、八渡を過ぎて、廣西省百色廳に至る六百三十哩鐵道の資金及材料供給の約を結びたりと。眞疑、本文を草する迄尙ほ不明なりき。

佛蘭西は專ら南方に於て鐵道經營に從ふ。滇越鐵路（河口雲南府間二百八十八哩）は滇越法國鐵路公司が二億一千萬法の資本を以て敷設經營せるもの、尙ほ其未設支線に蒙自思茅間約二百十三哩あり。是れ此滇越鐵路たる、佛國の對雲南經營の基礎たるものなり。廣州灣租借に伴ふものに廣州灣鐵路あり、三百塘鬱林間と三百塘高州間との二に分たる、尤も是れ支那との合辦に係る。廣西の龍州諒山間の龍州鐵路（五十哩）亦佛支合辦にして、佛國フィヴェオ●リール會社の經營に係るもの。其他他國と共に借款に參加せるものに、京漢鐵路、粵漢川漢鐵路（未設）あり。

白耳義　亦支那鐵道經營に就きては一地歩を占む。目下の所其出資に係るは汴洛鐵路（開封洛陽間）百三十六哩に止まれども、本年八月十四日に支那交通部と白耳義シンヂケート間に歸化城西安鐵路借款一億圓の契約締結せられたりと云ふ。

(2) 滿洲鐵道日露關係圖

方今歐洲列強が新領土又は新勢力地を得んとするや、先づ其地に於て經濟上の地歩を立て、次で之に伴ひて政治上の勢力を掌握するに至ること多しとす。而して此經濟的帝國主義の急先鋒たる者は實に鐵道なり、是れ獨逸のバグダッド鐵道に徹すべし。固より鐵道なるものは、經濟上の見地のみより立脚せらるゝものに非ず、時に軍事上又は政治上の見地、多きを占むる者なしとせず。今之を滿洲に就て見る、軍事上又は政治上の見地よりせられながらも、經濟上の施設として侮るべからざる者あり。

日本は人も知る如く、大連長春間の南滿洲鐵道（五一九哩）、奉天安東縣間の安奉鐵道（一七〇哩）及滿鐵の旅順、營口、撫順、煙臺諸支線を有する外に、長春吉林間の吉長鐵道（九三哩）には、日支合辦の形式の下に滿鐵會社は其資本の半額を出資せり。茲に最も注意すべきは明治四十二年九月の間島協約に於て、一切の辦法吉長線と同一たるべしとの協定の下に計畫せられたる吉會鐵道なりとす。本

線の工事は至難なるべし、蓋し松花江の架橋、張廣才嶺、冷爾嶺、五花頂嶺、老頭嶺の諸險難に隧道を穿たざるべからざるを以てなり、之が爲め工費は一哩平均約八萬圓を要し、總資本三千萬圓を豫算せざるべからずと云。而も其通過する地方は經濟上より見て貨物豐富なりとは思はれず、何を苦みて此難工事を敢てせんとするや。問ふを休めよ、一たび其『起點』が羅南及清津の北に在り、其終點が滿洲の中原に在るに想ひ到らば、本鐵道の主要性質、安奉鐵道のそれに同じからんことを知るを得ん歟。更に滿鐵と連絡すべき洮南府鐵道敷設に就き十月上旬日本と支那政府との間に借款成立せるは、最も注目すべき事實なりとす。

露國が滿洲里五站、哈爾賓長春間の東淸鐵道千六十七哩を有することは説明を要せず。最近露國政府は哈爾賓の西二十九露里なる對青山驛に起り、北行して呼蘭、綏化、海倫の諸府を過ぎ、西北に折れて墨爾根に至り、更に東北愛琿に進み、黑龍江岸に沿ふて溯り露領ブラゴエシチェンスクの對岸大黑河に達する鐵道三百五十哩の敷設權を要求し、且つ齊々哈爾より東部蒙古の北部を横ぎり、洮兒河の南岸洮南府に達する鐵道敷設權を要求し、目下交涉中なりと。後線は彼の錦愛鐵道豫定線の一部を實現せんとするものなり、蓋し錦愛線たる、錦州より發し、小庫倫、彰武、鄭家屯を經て洮南府に至り、夫れより齊々哈爾に北上し、墨爾根を經て、愛琿に出づべかりしものなればなり。

此外に支那實業家の計畫に係るものにして、海龍城より開原又は奉天に至る海龍鐵路あり、既に敷設を經たるものに齊々哈爾昂々溪間の齊昂鐵路の如きあれども、重要ならざれば説明を略す。

(4) 滿蒙住民分布圖

東蒙古に於ける主要府市間の距離左の如し。

從	洮南府	里	從	多倫諾爾	里
至	鄭家屯	七〇	至	赤峰	一〇〇
至	伯都訥	六〇	至	古北口	一〇〇
至	哈爾賓	一三〇	至	北京	一三三
至	齊々哈爾	七〇	至	熱河	一〇〇
至	小庫倫	一五〇	至	張家口	八三

從	朝陽	里	從	熱河	里
至	錦州	三〇	至	朝陽	一〇〇
至	小庫倫	五〇	至	多倫諾爾	九〇
至	阜新	三〇	至	赤峰	七〇
至	赤峰	六〇	至	灤平	六

蒙古には戸籍法はあれどもなきが如く、男子生れて十八歳にして初めて入籍し、女子は此事なし。されば戸數は知り難きに非ざれども人口に至りては精知するに由なし。尙蒙古人は男子三人あれば一人又は二人は喇嘛と爲し妻帶せざるが故に、勢女子の過剩を來し、漢人に嫁するもの多し。戸口に關する稱號上所謂佐領は概して百五十戸の稱にして、一戸は平均八人と算して大過なきが如し。左記主要府市の公稱戸口左の如し。

地名	戸數	人口
洮南府	一、五〇〇	一〇、〇〇〇
朝陽	三、一一〇	一七、三〇〇
熱河	三、〇〇〇	三〇、〇〇〇
多倫諾爾	一、五〇〇	一〇、〇〇〇
赤峰	一、五〇〇	二〇、〇〇〇

東蒙古の宗教別としては佛教、喇嘛教、回々教、耶蘇教、天主教等あり。耶、天兩教に在りては歐人の牧師時々巡廻布教す。現に鄭家屯の如き、天主教徒一千餘名に上る、牧師白耳義人費責賢氏常駐す。朝鮮人の南滿洲在住者は其數實に三十二萬八千五百八十七人（大正二年四月調査）の多きに達す、今一萬人以上の在住地を示せば左の如し。

龍井	六六、〇〇〇人		懷仁	二五、〇〇〇人	
輯安	五〇、〇〇〇		琿春	二〇、〇〇〇	
臨江	三〇、〇〇〇		綏芬局子	二〇、〇〇〇	
直洞	二九、〇〇〇		通化	二〇、〇〇〇	
			安東	二〇、〇〇〇	
			局子街	一五、〇〇〇人	
			長白	一二、〇〇〇	
			柳河	一〇、〇〇〇	

(5) 露國配兵圖

露國陸軍の西伯利に對する兵備に關しては、須らく先づ日露戰役後に於ける露國陸軍配兵上の變化に注目せざるべからず。特に左記三點は關係の至大なるものなり。

一、戰役後露國は歐露及高加索に亙りて五個軍團を增設し、而して其增設軍團の大部分は之を歐露の東部に配置し、更に獨墺國境に近く配置しありたる第五、第六、第十六軍團を東方に移轉せしめて歐露軍隊の重點を莫斯科方面に移したる事實は、是れ當に露國が西方に對せる勇往なる攻勢的企圖を抑制し、以て東亞に對する兵力集中を容易にし、作戰上優位を占めんとするの熟謀を見るべきなり。

二、日露戰役前に東亞に配置せし部隊は獨立の旅團若くは聯隊の編制を採りたりしに、戰後悉く之を師團編制に改め以て大に戰鬪力を擴張せり。卽ち戰役開始初期にサマラ驛以東（卽ちウラル以東）に駐屯せし兵力は約我十五個師團强に過ぎざりしが、今日に在ては實に我二十九個師團强に當する實力を有するに至れり。

三、現在サマラ驛以東に駐屯せる露軍は單に名稱上より之を見れば十六個師團と護疆一個軍團に過ぎざるの觀あるも、此師團及軍團內の部隊の大部分は平時より既に戰時員に近き人馬を以て編制し、以て一朝有事の日在鄕兵集中の遲緩より生ずる遺憾なきに備ふ。故に表面上の名目は十六個師團及一個軍團に過ぎざるも此の部隊は實際の兵數に於ては二十九個師團强の兵力に相當する計算なり。

次には輸送力の改良にして、西伯利及北滿洲の兵備上至大の關係を有す。今日西伯利鐵道の複線工

事竣成し、明後一九一五年春黑龍鐵道の開通を見るに至るや、則ち歐露の中心より浦港又は哈爾賓に通ずる鐵道は全線を擧げて總て複線的效力を有す。而して此の輸送力の擴大は開戰一個月後には我約七個師團、二箇月後には約十六個師團、五箇月後には正さに約五十師團に相當する兵力及之に要する馬匹器具を輸送し給養を維持するに於て容易なるを見る。

西伯利野戰軍配置左の如し。

（註）西は西伯利、狙は狙擊、哥は哥薩克

區分	軍管區	軍團 番號	軍團 衞戍地	步兵 隊號	步兵 衞戍地	騎兵 隊號	騎兵 衞戍地	砲兵 隊號	砲兵 衞戍地	工兵 隊號	工兵 衞戍地	輜重兵 隊號（基幹隊）	輜重兵 衞戍地	摘要
オムスク				西狙第十一師團	オムスク	西哥第三聯隊	ザイサンスク	西狙第十二砲兵旅團 西榴彈砲中隊 西山砲中隊	オムスク トムスク トムスク	西第四工兵大隊	オムスク	—	—	
イルクーツスク	西伯利第二		チタ	西狙第四師團 同第五師團	チタ ベリヨゾフカ	後貝加爾哥旅團	チタ	西狙第四五砲旅團 第二榴彈砲大隊 第一西重砲大隊 後貝加爾哥砲大隊	ペスチヤンカ ベリヨゾフカ ベリヨゾフカ アンチピーワ チタ	第二西、工兵大隊 西第二橋艦大隊 西第四氣球中隊	ベリヨゾフカ 同 ペスチヤンカ	—	—	狙擊砲兵第四旅團は八中隊にして二中隊の山砲を有す
	西伯利第三		イルクーツスク	西狙第七師團 同第八師團	イルクーツスク クラスノヤルスク	イルクツスク中隊 クラスノヤルスク中隊	イルクツスク ミヌシンスク	西狙砲兵第七旅團 同第八旅團 第三西榴彈砲大隊	イルクツスク クラスノヤルスク ニジネウヂンスク	第五西工兵大隊 第二無線電信中隊	イルクーツスク 同	—	—	軍團外に哥野砲兵中隊幹部二、第一西伯利鐵道大隊一、懲治隊一あり

| ア | ム | ー | ル | （黒 | 龍） | | |

以上の工事は當初より各線共各別に開始したるが故に、黒龍江鐵道全般の上より見れば、現下工事中に屬すと云ふの外なしと雖も、頭部線及西部線竝に西部線區よりブラゴウェシチェンスクに至る線路は既に竣工し、今一九一三年十月一日を以て營業運轉若くは臨時運轉を開始したるは事實なり。卽ち頭部線西部線及其東部を合せる九百六十露里に加ふるに、九十餘露里の支線は既に竣成を告げて運轉開始の期に入れるを見るべし。之を要するに沿黒龍總督ゴンダチー氏の公然言明する所によれば、一九一五年一月一日を以て全線の運轉を開始すべき豫定なりと云ふ。

黒龍江の航行は鐵道開通の爲めに毫も其の必要を減ずることなかるべし。蓋し黒龍江の航行權は松花江と共に一八五八年の愛暉條約に依りて規定せられ、翌五九年露國は既に一隻の汽船を浮べたるなり。爾來同江の航行は益〻發展して今日に至り、近時に在りては同江を上下航する商船の一ケ年の收入は實に千二百萬留に達し、黒龍江及其支流の汽船業に從事するもの亦一萬人以上を算するに至る。曩に一八九九年黒龍江流域に水路部を創設して、水路の研究航路の浚渫及碇泊所の築造等を開始し、爾來是等の諸施設に對する費用現に年額百五十萬留を算す。鐵道の布設開通と共に該地方江河の航行事業は益〻擴張せられ、相俟ちて黒龍江州一帶の開發に資すべきなり。本圖が細示せる江岸の各繫留所名は同地方の交通上必要なる表示なりとす。

(7) 烏蘇里地方植民圖

本圖は露國ウンテルベルグル將軍が曩きに黒龍江沿道總督として奉職中の調査に據りて自から編著せられたる調査圖に基き、之れに二三の追加補正を加へたるものなるが故に、決して斬新なるものに非ず。只烏蘇里地方が貫流せる河流に沿ひて天然の好農耕地を成し、爰に五十年歷代の總督が或は哥薩克を移植し、或は朝鮮人を誘ひ來りて、人爲を天然に加へ以て滿洲朝鮮國境に對する防備を養ひ來りたるの一事を看取するに便せんとす。故に本地圖によりて特に着目すべきは(一)ドン、オレンブルグ及後貝加爾哥薩克を移し來りて烏蘇里哥薩克を創設したること(二)朝鮮人が如何に多く、早き時代より露領に移植したるかの觀易きこと(三)今より三十年前歐露より遠く海路に由りてすら能く斯の如き大植民地を形成し得たりとすれば、今時鐵道全通し、植民機關整備せる以上、歐露民の熾んに西伯利各地に到り、所謂「露人の露領」を開拓するに努むるものある宜なりとすべし。

烏蘇里地方は本來農耕地なるも、而かも鑛物に富まざるに非ず。黒龍沿道國有財產管理局が採掘許可を與へたるものゝみにても石炭坑二十個所、鐵鑛十二個所、亞鉛鑛一個所あり、又哥薩克軍司令部の許可を與へたるもの鐵鑛四あり。而して最近烏蘇里鑛山區の採炭量は石炭約一百萬布度、褐炭約五百萬布度に上れり。

烏蘇里地方に於て最近現總督ゴンダチー氏が督勵しつゝある事業としては林業奬勵と製材事業是れなり。是れ烏蘇里哥薩克兵用地域内に移民地區を設定擴大せんとする準備の一に外ならず。

(8) 中央亞細亞鐵道圖

面積及人口　露領土耳機斯坦（トゥルケスタン）地方各州の面積及人口左の如し

州名	廣袤	人口 男	人口 女
シゥル・ダリンスク	四五九、〇〇〇 平方露里	八〇四、一三四人	六七五、七一四人
フェルガンスク	八〇、六六七	八五三、三七九	七〇七、一三二
サマルカンド	六〇、五九七	四七二、九一五	三八四、九三二
後裏海（ザカスピースク）	五〇一、六九六	二〇五、一〇九	一六六、〇八四
セミレチェンスク	三二八、九六六	五三一、二六三	四五八、七四四
ブハラ汗領	二一七、六七四	（男女）	二、五〇〇、〇〇〇人
ヒワ汗領	五〇、〇〇〇	（同）	五〇六、〇〇〇
計	一、六九八、六〇〇	（男女計）	八、二六五、四〇六

（註）ゲーエル氏著『土耳機斯坦』（露書）に據る、ストゥパーコフ氏露人著『土耳機斯坦（トゥルケスタン）地方』ミハイロフ中尉露人著『後裏海州の人種』中何れも廣袤露里數に差異あり）

住民種別　露領土耳機斯坦に於ける住民種族別左の如し

(A) 高加索人種＝一、露西亞人、獨逸人、波蘭人　二、サルト人、タッジーク人、ツガン人、印度人

(B) 蒙古人種＝ウスベク人、キルギス人、韃靼人

(C) セミチック人種＝猶太人（在來居住の者及歐露よりの移住者）

サルト族は更に多くの小種族を中央亞細亞に生め り、曰くタランチー人、ドウンガン人（露支國境セミレチエンスク附近に散在す テキン人、トゥルクメン人（後裏海州、アム・ダリヤ地方、ブハラ、ヒワ汗領に散在す）是れなり。されど中央亞細亞に於て最も廣大なる地域に亙りて據居するものはキルギス族にして、西伯利の境よりアム・ダリヤ河岸に及び、更にウォルガの下流より西部戈壁に及びて遊牧す。

物産　葡萄、棉花を宗とす。中央亞細亞鐵道が近時年々輸送する乾葡萄は七十萬布度（プード）一布度は四貫三百六十匁にして、之れが原料たる生葡萄は二百八十萬布度に上る、葡萄の生産總高は八百萬布度にして、内八十萬布度は葡萄酒釀造に充てられ、生葡萄の歐露へ輸出せらるゝもの一百萬布度に上る。棉花は植付段別約三十萬平方デシャチナ（一デは一町一段四畝餘）收獲約一千五百萬布度を算す。小麥に至りては年額約四千五百萬布度を算す。

ブハラ汗領　一八六八年を以て露西亞の保護領たり、汗（エミール）を戴く。汗は領内の土民より農產物の收獲高に準じ一定の租稅を徵收す。汗の獨裁政治下には司法敎務大臣、出納大臣あり、無俸給の地方官あり、又陸軍あり、砲兵最も見るべし。之を地味の上より見れば汗領域は中央亞細亞中最も肥沃の地にして農耕に好適すと稱せらる。

交通　中央亞細亞の鐵道は左の二幹線二支線に區別せらる。

（甲）タシケント鐵道（自サマラ驛　至タシケント　二〇九〇露里（一九〇四年起工））

自サマラ驛	至オレンブルグ	至アクテュビンスク	至タシケント
	三五四露里	六〇九露里	
（乙）中央亞細亞鐵道（自タシケント　至クラスノウオドスク　一七四七露里（一八八八年起工））			
	至サマルカンド	至メルヴ	
自タシケント	三三二露里	九〇六露里	
（丙）アンディジアン支線（自チェルニャエヴォ　至アンディジアン（中央亞細亞鐵道支線））	至アスハバッド	至カザンジク	至クラスノウォドスク
	一二二八露里	一五〇二露里	一七四七露里
（丁）クシク支線（自メルヴ　至クシク（同上））	二九六露里	三〇四露里	

若し夫れアム・ダリヤの水運に至りてはチャルジュイとペトロ・アレクサンドロフスク間四百十露里の河流三月上旬より十月下旬まで航行に堪ゆ。

(9) 露國各種族分布圖

本圖に示せる大小の種族中、其主なる者を說明せば左の如し。

(1)大露西亞人　莫斯科を中心とせる中部露西亞の根本民族なり。他の小露西亞人及び白露西亞人に對して此稱あり。

(2)小露西亞人　南部露西亞に擴がれる民族にして、彼等の地方は一六五四年を以て莫斯科帝國に併合せらる。該地方は第十四、五世紀に於て其南部は韃靼人、北部はリートゥワ人の支配下にありたる爲め彼等固有住民と支配民族との間に爭鬪を續けたり。所謂小露西亞文學は特有の地步を露國文壇に占む。

(3)白露西亞人　久しき時代に亙りてリートゥワ及び波蘭の統治下に在りたる民族なり、全族現時五百萬人を算す。（4、5、略）

(6)リートゥワ人　露國の最北西部に位置す、昔のリートウワ侯國の住民なり。グンビネン州を普漏西に殘し、其他皆露領に入る。（7略）

(8)エスト人、リワ人　芬蘭族にしてエストリャンヂヤ及リウォニヤ地方の住民なり、前者は九十萬人を算す。ラトヸシ人と同系なり。

(9) ロバリ人　ラプランヂヤ諸威の北部の人にして多く獸獵を業とす。

(10) モルドワ人　昔時武を以て鳴り獨立侯領を成す、屢〻露國々境の患を爲す。現時人口約百萬を算す。

(11) チェレミス人　淡黑色の皮膚を有し多く無髯なり、現在卅五萬民を遺すのみ。(12、13、14、15略)

(16) サモエード人　ウラル・アルタイ系に屬する遊牧民なり。現時二千人を有す。

(17) オスチャーク人　多くは沼澤地又水邊に據住す、正直なる良民を以て名あり、獵漁を業とす、二萬五千人と稱せらる。(18略)

(19) 韃靼人　最も紛雜せる不確定の種族なり、左の三種の大集團(グルップ)に分たる。

(A) 西伯利團人 一〇〇、〇〇〇
- a 阿爾泰韃靼
- b 西シベリア韃靼人

(B) 歐羅巴團人 一、三三五、〇〇〇
- a カザン韃靼人
- b アストラハン韃靼人
- c クリミヤ韃靼人

(C) 高加索團
- a 山系韃靼人
- b ダゲスタン韃靼人
- c アデルベイジヤン韃靼人

(20) バシキール人　主としてウラル山麓に住棲す、五十七萬人を算す。(21略)

(22) サルト人　農業を主とする土着民なり、九十萬人を算す。(23略)

(24) キルギス人　一に蒙古族に屬すと稱せらる。キルギス人八十五萬人、キルギス・カイサーク人約二百萬人あり、露國民籍に在る者は前者中の十七萬人のみ。(25、26、27略)

(28) ヤクート人　自からソーハ人と稱す、黑髮にして薩滿敎信者多し。

(29) ブリヤート人　喇嘛敎徒にして首長を戴く、蒙古語の一派を語る、現時三十萬人。

(30) トゥングス人　東部西伯利の遊牧民なり、好んで革衣を纏ふ薩滿敎徒多し。(31、32略)

(33) グルジン人　後高加索地方の一民族、昔のグルヂヤは一時獨立國としての盛時を有す、第十三世紀蒙古人に征服せらる。一八〇一年露國に併合。(下略)

(10) 墺太利匈牙利內人種分布略圖

佛國の史家エルネスト・ラヴィス、墺太利匈牙利帝王國を構成せる諸民族を一言にして掩ひて曰く『恰も古へバビローンに聚合してバベルの高塔を築造したる人衆の諸落の類のみ』と。然り、墺太利には主幹たるグルマン人の外に、チェック、モラヴ、スロヴァク人あり、波蘭人あり、ルーテーン人あり、スロヴェーン人あり。匈牙利にはマギャル人の外に羅馬尼亞人あり、クロアット・セルブ人あり、スロヴァク人あり。是に於て墺匈國にては未だ嘗て擧國一致なるものなし。政府にして露西亞又は塞爾維亞と事を構へんとするや、ボヘーム(ボヘミア)ガリシー(ガリシア)、クロアシー(クロエシア)のスラヴ諸民族の反對に遭ひ、伊太利に迫らんとするや、トレンチン、トリエストの伊太利人の反抗を招く。巴爾幹問題が墺匈國にとりては、是れ國外問題たるのみならず、同時に國內問題たるの所以解すべきに非ずや。

墺匈國内に在るスラヴ族の趨勢は殊に注意に價す。ガリシーに在るルーテーン人は匈牙利の北東部に喰ひ込み、墺太利領の波蘭人、匈牙利北部のスロヴァク人、ボヘームのチェック人は、ゲルマン民族の國たる墺太利に進み入らんとす。更に南方に於てはスラヴ族の『潮流』は、塞爾維亞より發して西進せるものにして、ベルグラードよりフィューム、アグランよりラギュズに亙る一帯に、五百萬のセルボ・クロアト人、其居を占め、更に其西に在りてスロヴェーン人はトリエストの東、北の一帯を占む。スラヴ族の上記『北潮』と此『南潮』とは、終に相連なるに至るべきや。換言すればボヘームのチェックとカルニオル（カルニガラ）のスロヴェーンとは、スチーリー、下墺太利を横斷して、相抱擁するに至るべきや。スラヴ族の發展は此事なきを保せず。其曉は他の諸民族即ち東部のラテン、中部のマギヤル族、チロルカリンチー、墺太利のゲルマン人は、非常の壓迫を受けざる能はざらん。而もトランシルヴァニーの羅馬尼亞人は墺匈國より離れて、獨立の羅馬尼亞國に加はらんとするセバラチストにして、伊太利人亦イルレダンチストたり。セルブに至りては更に其母國を懷ふの念強きものあり。之を外にして、獨逸は今日墺匈國の友たるも、他日墺匈國の『後繼者』たらんとするの野心を藏せざる者と言ふべからず、是れ佛のヴィコント・ド・ケークスや、アンドレー・シェラダームが章を累ね、兩端を叩きて竭言せる所。

此内外危急の形勢に圍繞せられながら、朽索六馬を御し、一髪千鈞を引き、墺匈帝王國をして今日儼

存せしむるは實に老帝フランツ・ヨセフの聖德に在り。而も一たび梁木中夜に摧け、泰山曉晨に崩るの日、其運命實に憂に堪へたりとすべし。唯だ獨り皇儲フルヂナンドの英資を負へるあり、或は難局を收拾するを得ん歟。左に最近調査に據る各民族人口數を示すべし。

	墺太利	匈牙利	ボスニーヘルセゴヴィーン	總計
ゲルマン	九、九五〇、二六六	二、〇三七、四三五	二二、九六八	一二、〇一〇、六六九
マギヤル	一〇、九七四	一〇、〇五〇、五七五	六、四四三	一〇、〇六七、九九二
波蘭人	四、九六七、九八四	―	一〇、九七五	四、九七八、九五九
ルーテーン	三、五一八、八五四	四七二、五八七	七、四三一	三、九九八、八七二
チエック、モラヴ、スロヴァク	六、四三五、九八三	七、〇四五	八、四一〇、九九八	
クロアットセルブ	七八三、三三四	一、八二二、五六四	五、五四五、五三一	
スロヴェーン	一、二五二、九四〇	―	一、二五二、九四〇	
羅馬尼亞人	二七五、一一五	―	二、九四九、〇三二	
伊太利人	七六八、四二二	―	七六八、四二二	
其他	―	―	四六九、二五五	四八九、八七三
外國人	六〇八、〇六二	二〇、六一八	三三、七五八	六四一、八二〇
合計	二八、五七一、九三四	一、九三一、八〇二	八八六、四八七	五一、三九〇、二二三

(11) 巴爾幹新國境圖

勃牙利羅馬尼亞國境　新國境線は新に羅馬尼亞領土となれるツルツカイ(Turtukai)ドブリツチ(Dobr-itch)バルチック(Baltchik)を貫くものにして、『軍事上の要衝』を成す所の直接の附近亦羅馬尼亞の有に歸せり。羅馬尼亞は勃牙利に對し他にルスチュック(Roustchouk)シウムラ(Choumla)の砲臺を撤去することを承諾せしめたり。

塞爾維亞勃牙利國境　新國境はヅウマー(Djouma)の西方舊土勃國境に初まり、ヴァルダル(Vardar)河の溪域とストルマ(Strouma)河の溪域とを分つ山脈を傳ひ、次でストルミツァ(Stroumitsa)とラドヴィツァ(Radovitsa)との間に於て、ストルミツァ河を渡り、ドイラン(Doiran)の北クラト(Klath)に至り、次で東に傾きて、希臘と勃牙利との國境となる。卽ちクプルル(Kœprulu)イスチプ(Ichtip)コチァナ(Kotchana)の如き皆塞爾維亞に歸し、勃牙利はヴァルダル河に據る望を失ひたり。

希臘勃牙利國境　前記クラトより發しウルンディ(Mrundi)山脈とブズダグー(Buzdagh)との頂を沿ひ、デミル・ヒサル、セレス、ドラマを希臘に與へたる後、東に進み、メスタ(Mesta)河を渡り、南に折れてメスタの河口サリサバンに終る。之に依り勃牙利はエーゲ海岸に於ては狹き『玄關』を有するに止まれり、卽ちサロニカ、カヴァラの如きは、希臘に奪はれ、己れはポルトラゴス(Port-Lagos)とデデアガッチ(Dédéagatch)の兩港を得たるのみ。凡そソフィア及西勃牙利とエーゲ海とを通ずる鐵道の敷設せらるべき唯一の地方は、クステンディル(Kœstendil)附近を過ぎ、ヴウマーとクレスナに沿ひてオルファノ灣に終るストルマ河流域なりしなり。オルファノ灣既に希臘に歸す、此案は復た用ふべからず。勃牙利はカヴァラを得んとしたるも復た失敗したりき。又假令成功したりとするも、デミル・ヒサル、セレス、ドラマ既に希臘に歸したれば、勃牙利はエーゲ海に出づるに多くの困難を感せざるを得ず。今新地圖に依り案ずるに、ヴウマーよりキルヂァリ(Kyrdjali)に亙る一帶にはロードプ山脈の横はるありて、新勃牙利領たるマセドニアとフィリッポポリ地方との間に容易に越ゆべからざる柵壁を成す、故にデデアガッチに出でんには、大迂廻してアドリアノープル、ディモチカを經由せざるべからず、然るに此アドリアノープルもディモチカも更に土耳古領と爲りたるに非ずや。由是觀之、勃牙利は其切望せる所に反し、殆どエーゲ海に出づる能はざるなり。

塞爾維亞希臘國境　新國境はクラトに初まり、ゲヴゲリ(Guevguéli)附近に於てヴァルダル河を渡り、西進して、メグレニア(Meglenia)地方を希臘に與へ、次でモナスチールとフロリナとの間を通過してプレスバ湖に終るものとす。此國境協定に就きては困難ならざりしも、將來サロニカの制度を決定する時に當り、多少の困難なしとせざるべし、蓋し塞爾維亞はヴァルダルよりゲヴゲリ(サロニカよりも僅かに七十基米突)に亙る大動脈を得たる今日は、アルバニアに煩さるゝアドリアチック海よりもエー

ゲ海に對して野心を抱くに至るべきを以てなり。（以上一九一三年八月十日ブカレスト條約に據る）

希臘アルバニア國境　本年八月十二日を以て一先づ閉會を告げたる倫敦大使會議は新國境原則として、オクリダよりコルフ灣頭タリア岬に亙る一線を採り、コリツァをアルバニアに加ふることを明示したり。九月より列強特派委員に依り其劃境に着手せられたるが多少の異動を免れざるべし。

塞爾維亞黑山國新國境　ブカレスト講和後塞爾維亞と黑山國間の直接交渉に依りて、協定成り、ヂャコウィツァ(Diakova)プレウニエ(Plava)イペク(Ipec)は黑山國に歸せり。而して黑山國とアルバニア北境との劃定は、本年三月下旬倫敦大使會議の爲せる所なり。

土耳古勃牙利新國境　エーゲ海岸エノスより起り、マリツァ河を沿ひ、ディモチカ、オルタクイを土耳古に收め、ムスタファ・パシャの西より東に進み、レズヴァイア(Rezvaia)河口に終るものとす（一九一三年九月の土勃取極に據る）

以上の新國境に基き各國の新人口を概算すれば大體左の如し。

羅馬尼亞	七、六〇〇、〇〇〇
希臘	四、五〇〇、〇〇〇
アルバニア	二、〇〇〇、〇〇〇(?)
勃牙利	五、五〇〇、〇〇〇
塞爾維亞	四、〇〇〇、〇〇〇
黑山國	五〇〇、〇〇〇(?)

戰爭前に於ては勃牙利は四百五十萬、塞爾維亞は三百萬、希臘は二百七十萬、黑山國の二十五萬なりしを以て、希臘が最も膨大せるを見るべし。

(12) トラス人種別地圖

トラス(Thrace)（英稱スレシア　露稱フラキア）は今や『巴爾幹新國境圖』の示す如く、勃牙利と土耳古との間に分割せられたり、而も此トラスには土耳古人、勃牙利人のみならず、希臘人亦多數住居して、相混雜す、將來巴爾幹の一禍源たらん。

茲にトラスと稱するは、行政上アドリアノープル縣(Vilayet)とチャタルヂャ郡(Sandjak)より成る。此チャタルヂャ郡は內務省に直屬す。アドリアノープル縣は六郡、三十二區(Kazas)に分る、六郡とはアドリアノープル、キルク・キリセ、ロドスト、ガリポリ、デデ・アガチ、グムルヂナ是なり。

千九百五年の土耳古政府統計(正確ならず)に據れば、アドリアノープル縣の人口は百十六萬九千九百四人にして、中回々敎徒六十四萬九千三百五十九人、非回々敎徒五十二萬五百四十五人なり、此非回々敎徒の中三十五萬百四十人は希臘管長の下に在る者、十一萬九千六百六十六人は勃牙利管長の下に在る者、一萬四千五十三人は猶太人、二萬五千四百五十人は、加特力敎徒、新敎徒、外來人なりとす。之に據れば回々敎徒は人口の五五パーセント、基督敎徒は四十三を占め。更に之にチャタルヂャ郡の人口七萬九千人(中回々敎徒二萬二千三百九十一人、基督敎徒五萬四千七十人、猶太人一千八百人)を加ふれば、トラス(君士坦丁堡を除く)には六十七萬二千七

百五十人の回々教徒、五十五萬九千五百六十七人の基督教徒、猶太人一萬千八百五十人合計百二十四萬八千百六十七人の住民あり、而して中五十四パーセントは回々教徒、四十五パーセントは基督教徒たり。然るにアドリアノープル縣人口に關してカラヨウォフ氏が調査せる所左の如し。

回々教徒	五〇一、七八〇
基督教徒	四七三、七〇〇
猶太教徒	二二、一二〇
	五〇パーセント
	四八パーセント
	二パーセント

アドリアノープル縣の回々教徒に二種あり、土耳古人とポマク（Pomaks）是なり。ポマクは勃牙利人の回々教に歸依したる者にして、グムルヂナ郡の北方殊にキルヂャリ地方に多く住居す。其總數約十二萬なり。

トラスに在る各人種はマセドニアよりも複雑にして割合常に變ずるを以て、明確なる人種別地圖を作ること困難なるも、吾人は各區（カザ）の全人口に對する、回々教徒、勃牙利人、希臘人の割合に依りて、其分布に關する知識を得んとす。回々教徒の最も多きはトラスの西部卽ちグムルヂナ郡にして全人口の八十四パーセントを占む、殊に同郡の北方に於てはポマクに依りて回々教徒の數を增し殆んど基督教徒を見ず。グムルヂナ郡を外にしてエルゲネ河の北及南卽ちヴィザ、ルレブールガス、チョルルー、ハイレボルー各區亦土耳古人は五十五乃至七十八パーセントを占む。希臘人は常に海岸地方に多し。殊

に黑海とマルマラ海の海岸には其人口は五十パーセントを越ゆ、但しデデアガチ、グムルヂナには希臘人稀れにして、而もディモチカ區にては六十二パーセントを占む。勃牙利人はマルコ、トルノウォ（九十パーセント）ロゼングラド（四十七パーセント）、スヴィレングラド（五十六パーセント）區に多し。アルメニア人は主としてアドリアノープル及ロドスト郡、ガリポリに住居す。

最後に都會の人口に就き記さんにアドリアノープルは約七萬（中約三萬は土耳古人、約一萬二千は希臘人、約一萬は勃牙利人）ロドストは二萬五千（希臘人、アルメニア人多し）キルクキリセは一萬六千（中土耳古人二千五百、勃牙利人六千三百希臘人六千）ガリポリは一萬五千（主として希臘人）、ディモチカは一萬三百（中土耳古人三千、希臘人四千、勃牙利人二千）を算す。

(13) アルメニア人分布圖

アルメニア問題！是れ人耳に熟せる世紀の問題なり。アルメニア人や亞細亞土耳古に於ける唯一の基督教徒として、多數回々教徒の群中に在る、宛も大海中の一小島嶼の如し。而も土耳古の壓迫、クルド族の侵掠てふ激浪、屢次此小島を襲ひて、或は之を呑まんとす。豈に人道問題のみならんや、アルメニアたる亦國際政治の一舞臺たり。アルメニア越へてアレキサンドレッタへ、是れ露國の一南進

策たり。試みに思へ、最近に於て露國が土耳古に對し事を爲さんとするや、先づアルメニアに鐵騎を送らんとするには非ずや。是に於て乎グラッドストーン以來英國のアルメニア政策あり。

アルメニアの改革はアルメニア人のみならず、歐洲列強の屢次土耳古政府に對して要求せる所なり。而も土耳古政府が未だ嘗て滿足なる改革を施すことなきは、一は其誠意なきに由ると雖も、一は以て改革實現を困難ならしむる諸般の原因の存するに由らん。其一は恐らくクルド族の橫暴制止し難きものあると同時に、アルメニア人が餘りに各地方に散在すること、亦一困難なるもの〻如し。是に於て前に佛蘭西の駐土大使たりしポール・カンボン氏の如き、アルメニア問題は解決の見込なし、《黃書中アルメニア事件(一八九二——一八九七年)に出づ》とまで斷言せり。西の方の多島海、スミルナ縣より東の方バグダッド、バソラ縣に亙る廣漠なる亞細亞土耳古の上に、僅々百二十餘萬のアルメニア人在るに止まれば、比較的アルメニア人多き縣と雖もアルメニア人は決して其過半數を占めず。シヴァス縣は縣としてアルメニア人最も多きものなれども、尙且つ總人口百八萬餘に對し十七萬人を占むるに過ぎず、トレビゾンデ、エルゼルーム、ビトリス、アダナ諸縣亦等しく然り、各縣に於て最大多數を占むるは常に回々敎徒たり。斯くの如きはアルメニア人に自治を許す能はざる一因を成すものなりアルメニア人や固より文明の程度土耳古人の上に在り、彼等の中より多くの卓越せる政治家を出せり、彼等が自治の能力を有すること、固より否むべからざる所なり、然れども一地方に一人民としての集

團を成さざるアルメニアを以て自治國たらしむるを得べきや。假令事自治ならざるにせよ、諸般の改革の如きに至りても、其實現の困難は前者と大同小異なり。

吾人は參考の爲め左に亞細亞土耳古に於けるアルメニア人統計を附せんとす。

地名	總數	回々敎徒	猶太敎徒	基督敎徒	內アルメニア人
アルシベル	三二五、〇〇〇	二七、〇〇〇	二、〇〇〇	二九六、〇〇〇	?
スミルナ	一、四二〇、〇〇〇	一、〇九三、〇〇〇	二二、〇〇〇	二四九、〇〇〇	一五、〇〇〇
ブルース	一、六二〇、〇〇〇	一、二九六、〇〇〇	三、〇〇〇	三二一、〇〇〇	九四、〇〇〇
カスタムニ	一、〇一八、〇〇〇	九九二、〇〇〇	—	二六、〇〇〇	?
アンゴラ	八九一、五〇〇	七六三、〇〇〇	五〇〇	一二八、〇〇〇	九五、〇〇〇
コニア	一、〇七二、六〇〇	九八九、〇〇〇	六〇〇	八三、〇〇〇	一〇、〇〇〇
アダナ	三二七、〇〇〇	一五八、〇〇〇	—	一五九、〇〇〇	九七、〇〇〇
アレッポ	九九五、〇〇〇	七九二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一八三、〇〇〇	三八、〇〇〇
シヴァス	一、〇八五、〇〇〇	八三九、〇〇〇	—	二四六、〇〇〇	一七〇、〇〇〇
トレビゾンデ	一、〇四六、五〇〇	八〇六、七〇〇	五〇〇	二四〇、六〇〇	一四七、〇〇〇
エルゼルーム	六四〇、〇〇〇	五〇一、〇〇〇	—	一三九、〇〇〇	一三五、〇〇〇
ビトリス	四〇〇、〇〇〇	二五四、〇〇〇	—	一四六、〇〇〇	一三一、〇〇〇
マムレト・ウル・アヂス	五七五、〇〇〇	五〇五、〇〇〇	—	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇
ディアルベキル	四六三、〇〇〇	三二九、〇〇〇	一、〇〇〇	一三三、〇〇〇	七九、〇〇〇
ヴァン	四二四、〇〇〇	二四一、〇〇〇	五、〇〇〇	一七八、〇〇〇	八一、〇〇〇

モスル	二八三、〇〇〇	二四八、〇〇〇	
バグダッド	八五〇、〇〇〇	七八九、〇〇〇	
パソラー	八〇〇、〇〇〇	七八九、〇〇〇	
ビガ	一二四、〇〇〇	一〇六、〇〇〇	
イスミッド	二一八、〇〇〇	一二九、〇〇〇	
合計	一四、五七七、〇〇〇	一一、六四六、〇〇〇	

	五、〇〇〇	三〇、〇〇〇	?
	五四、〇〇〇	七、〇〇〇	三、〇〇〇
	七、〇〇〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇
	—	一八、〇〇〇	二、〇〇〇
	—	八九、〇〇〇	四九、〇〇〇
	一三〇、五〇〇	二、七四七、六〇〇	一、二一八、〇〇〇

(14) 地中海地圖

地中海問題は歐羅巴文明始まりて以來のものなるも、常に繰返されて、今日仍ほ歐洲政局の『關鍵』たり。佛國のシァルル・ヴェルレー氏の近著『地中海問題』(Le problème méditerranéen)中に最近十年來歐洲の地中海全政局を支配したる三法則なりと概言したるものに曰く『既に地中海に『窓』を有する列強が其の同海に有する地歩を鞏固にし又は擴大する爲めにあらゆる努力を集中すること其一。地中海に觸接せざる列強が如何にしても同海に一地歩一勢力を樹立せんとすること其二。此等猛烈なる野心の爲めに危殆に瀕したる國々が變遷し若くば滅亡せざるを得ざるに至れること其三』と。然り。北亞弗利加を中心とする英佛伊西の協商、英佛海軍協商、墺伊間竝に之と塞爾維亞とのアドリアチック問題、伊

太利希臘間の多島海問題竝に亞細亞土耳古分割問題は、皆地中海を舞臺とす。固より一概に地中海問題と言ふも讀みて字の如くなる一個の總括的問題の存するに非ず、個々幾多の部分的問題を概稱するものなるのみ。而して吾人は信ず、若し人にして地中海問題を知らんか、歐洲外交政局の眞相の半は、解釋立所に成らんのみと。

英國は其事實上の保護國たる埃及を以て、地中海の東口を扼し、ジブラルタル海峽を以て、其西口を扼す、マルタ島には千九百十二年五月迄地中海陸海軍總司令部ありしが、同月に至りて之を埃及カイロに移せり。佛國は本國及チュニジー、アルヂェリー及摩洛哥北岸の一部を以て、地中海に臨む。本國のツウロン、アルヂェリーのビゼルトは其海軍の根據地たり。而して英佛は千九百十二年海軍協約を結び、佛は主として地中海の優越權掌握の任に當ることゝ爲れり。ジブラルタル、ツウロン、マルタ、ビゼルトは實に英佛海軍聯合の『四本柱』を成すものの。

伊太利は國、半島を以て成り、而して北亞弗利加にトリポリテーヌを領有し、地中海の大海軍國として、一方に雄視す。而もヴェニスや、ゼイアや、ブリンディジやバリは良貿易港たるを失はざるも軍港としてはオトラント海峽對岸のヴァロナに一籌を輸せざるを得ず(外交時報二百七號社說アルバニアと墺伊參照)伊太利にして一たびヴァロナを得んか、同國海軍は此良港に據りて東地中海に覇を稱し、一朝墺と事を構ゆる時、墺海軍をアドリアチックに嚢中の鼠たらしむるを得ん。

獨逸は昨秋地中海に一艦隊を常置することゝせり、是れ一は小亞細亞に於ける其利權保障の爲めにして、一は三國同盟に對する奉公なり。而して其根據地又は貯炭地はアレキサンドレツトかユームールタリクか、是れ今日未決の問題なり。

地中海の海上權は今や英佛聯合海軍の掌中に屬せりと雖も、是れ其對敵たる墺伊獨三國海軍に相對的優勢を保てる結果に外ならず。墺伊にして一意其海軍を擴張せば、彼此其位置を轉ずるに至るやも知れず。地中海今後の均勢、刮目に價す。

(15) 佛領印度支那圖

吾人が玆に印度支那と言ふは交趾支那(Cochinchine)東蒲塞(Cambodge)東京(Tonkin)安南(Annam)老撾(Laos)に止まるものにして、交趾支那は千八百六十七年佛領と爲り、又東蒲塞、東京、安南は千八百八十四年佛の保護國となれり、是れ佛國近代の大政治家ヂュール、フェリーが心血を濺ぎたる賜なり老撾はもと暹羅との係爭地なりしが、千八百九十三年、同四年に於る數度の條約竝に千九百七年の條約に依り、全く東蒲塞の一部たるに至れり。

印度支那の住民はタイ人と安南人とを以て其主なるものとす、前者はヒンヅウ文明を代表し後者は

支那文明を代表す。殊に安南人の如き安南總人口二百九十九萬三千九百五十七人の中二百七十五萬九千四百一人を占む(一九一一年調査に據る)。東京は人口約七百萬、交趾支那は二百九十萬、東蒲塞は百六十五萬四千餘(中、東蒲塞人百三十六萬餘、支那人十萬四千餘、安南人七萬九千餘)、老撾は六十四萬餘(老撾人二十七萬六千、カ人十八萬七千餘フォンテー人十四萬八千餘)あり。

佛蘭西政府は印度支那總督(現任アルベール、サロー氏 Albert sarraut)を河内(Hanoi)に駐せしめ、他の四國には統監(résident supérieur)を置く。

千八百九十八年十二月印度支那總督は二億法の借款を以て諸鐵道を敷設することを許されたり其主なるもの左の五線にして其他計畫中なるもの尚ほ千三百基米突あり。

(一)海防、河內、老開線、三八二基米突(二)ハノイ、ノム、ディンヴィン線、三二七基米突(三)ツウラン、ヒュエ、クァン、トリ線、一七二基米突(以上完成)(四)西貢カーン、ホア及ラン、ビアン線、七六五基米突(中約二百基米突竣工)(五)ミイト、カントー線九三基米突(未着手)

道路に就き目下計畫中なる主なるものは(一)印度支那縱橫線卽ち河內より西貢迄千七百基米突(二)メコン河に沿へる本道竝に岐道(三)廣州灣を起點として兩廣地方に達するもの等なり。

主要の產物は米にて交趾支那の米田百六十萬町歩、東京九十萬町歩あり、千九百七年の如き百二十五萬噸、價格六千萬圓を產せり。メコン河岸及安南の一部には棉花の栽培多し。安南の茶亦名あり、

竹亦夥く産す。森林は二千五百町歩と算せられ、一九一〇＝一一年度の木材産高七百廿萬圓に上れり。

印度支那諸國民中佛蘭西が最も統治に困難せるは安南人なり、安南人は漢字を學び、支那思想浸潤す、茲に於て敎育改革の要あり。ポール、ヅウメーが經營の功を急ぎたる餘弊を受けて、財政の其均衡を失し、人民の負擔(殊に專賣の爲め)輕からず、是に於て財政改革の要あり。印度支那一朝外侵を蒙る時、現在の佛國軍隊は能く之を防禦するを得ざるべし、是に於てペンヌケン將軍が安南兵八萬五千を養ふべしとの論あり。或は佛國の識者にして、極東を手離して、精力を亞弗利加に集中すべしと說く者あり。或は印度支那に對する支那禍、日本禍の怖るべきを說くあり(アンドレー、デュソーヂュ氏の如き是なり)。佛人よ、意を安せよ、日本に於ては印度支那を知る者殆ど稀なり。

(16) 瓜哇交通圖

(17) スマトラ物産圖

所謂蘭領東印度中のスマトラ及瓜哇の二島に關しては、共通せる事項尠なからざるが故に說明も亦便宜上之を同一項下に收む。

バタビヤに駐在する蘭領東印度總督は和蘭王の名に於て當領土を統轄するも、其總ての施設に關しては本國植民大臣の管轄に屬す、その一步瓜哇島以外への旅行だも勅許を受くるを要す、任期は五箇年とす。

蘭領東印度に實務的關係を有せんとする者は曆數の異同に注意を拂ふの要あり。卽ち慣用の曆數に下の四種あり(一)太陽曆(二)アラブ曆(三)瓜哇曆(四)大陰曆是れなり。太陽は法定の曆日なりと雖も、亞剌比亞人はアラブ曆を、蘭領東印度土人は瓜哇曆を慣用す、而して瓜哇曆中にも更に新舊の別あり、又スンダ曆卽ち瓜哇西部スンダ人使用の曆數は亦多少の相異點を有す。

今試みに各國領事の駐在數を見れば他國が如何に蘭領貿易に熱心なるかに想到すべし。

駐在地 ＼ 本國	獨	佛	米	白	丁	諾	英	伊	瑞典	葡	暹羅	埃及
バタビヤ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
スマラン	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
スラバヤ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
パダン	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
メナド	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
マカツサ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

チラチャツプ　―　〃　―　―　―　―　―　―　―　―　―　―　―　―　―　―

（〃は駐在、―は不在。即ち獨佛の六箇所に對し日本は一箇所のみ）

蘭領は土地所有を禁ず、即ち從來歷史的に土地を所有する者以外、和蘭本國人と雖も新たに土地を所有するを禁止す。故に土地に關しては七十五年を最新長期間とする永借地權を所有し得るに過ぎず、而して永借地權を享受し得る者は(一)和蘭人(二)蘭領印度住民(三)和蘭本國又は蘭領印度に設立せられたる商事會社の三に過ぎず。

蘭領東印度に在ては住民を二種別す、即ち(一)和蘭人又は歐洲人並に之と對等者(二)土人及其の他の亞細亞人是れなり。明治三十年九月締結の日蘭新通商航海條約に依り、邦人は全然歐洲人と均等の待遇を享有せること勿論なり。

蘭領の貿易界に一大勢力を有するものは言ふまでもなく支那人なり、されば支那人慣用の蘭領各地の漢字名は實用上必要なり、左に其主要なるものを擧ぐ。

Java	瓜哇	Malang	馬壠	Medan	棉蘭
Batavia	巴達維亞(巴城)	Grisee	錦石	Padang	把東
Soerabaja	泗水(泗里末)	Tegal	直葛	Palembang	巨港
Semarang	三寶壟(隴川)	Pekalongan	八茄浪	Acheen	亞齊

Bandevng	萬隆	Tjilatjap	芝勝執	Borneo	―
Tjocjakarta	日惹	Cheribon	井里紋	Pontianak	坤甸
Saerakarta	椶羅	Buitenzorg	茂物	Sarawak	沙剌或(沙羅越)
Tjiandjoer	芝安恤(剪玉)	Soekaboemi	芝高麗	Sandakan	山打根
Kediri	諫義里	Magelang	隆門(吉馬隆)	Celebes	
Temanggoeng	淡巴光	Sumatra	蘇門答臘	Makassar	孟加錫(錫　波)

東印度の陸軍は將校以外は六箇年契約の歐人（獨逸人、白耳義人瑞西人）募集兵と土人兵とより成る。然かるに一九〇八年以降土人中の希望者を訓練して將校に登用の途を開き、加ふるに雜種兒に本國人同等の待遇を與へ來れるの一事は本國人と土民間の感情緩和に效果少からず。軍隊は瓜哇駐屯の四個旅團（バタビヤ、バンドン、スマラン、スラバヤ駐屯）の外別に四個の獨立部隊あり。大隊編成にして內三個大隊は瓜哇に、一個大隊はスマトラ島アチー州フォート・デ・コックに駐屯す。而して常備步兵三分の二は常にバリー島、スマトラ島セレベス島、ボルネオ島に交代分遣す。之を要するに駐劄軍の主腦たる步兵二萬五千を以て七十三萬六千四百方哩の領土を完全に守備するなり。

海軍も亦陸軍同樣總督に隸屬し、海軍部をバタビヤに置く、而かも艦隊は(一)本國派遣隊（本國海軍に直屬するもの）(二)東印度特設艦隊の二種に分たる。

植民地展覽會は一九一四年九月より瓜哇島スマラン市に開催、開期約三ヶ月の豫定なり。ス市は瓜哇の中部北岸に位置し交通、貿易上自から同島の中心地點たり。

(15) 比律賓群島主要物産圖

比律賓群島の經濟狀態は比較的好況に在り。外國貿易は過去四ヶ年間に三億ペソの增加を見、債務に至りては總額千二百萬弗にして人口一人當り僅かに三ペソに過ぎず。一九一三年度(自一九一二年七月至一九一三年六月)の貿易額は米貨一億九百餘弗に上り、前年に比し四百七十六萬餘弗の增加なるが、就中砂糖の輸出額が二十萬噸を超えたるはレコードを破りたるものなり。而して對外貿易の三大中心點としては呂宋島及附近の呑吐港たるマニラ、中部諸島の呑吐港たるイロイロ、南部諸島の中樞港たるセブー卽是れなり。對比島貿易國としては其貿易額よりして米本國を第一位として英國之に亞ぎ、佛領印度、日本、支那、濠洲、獨逸、西班牙、佛蘭西、印度等の順序なり。

本群島に散在する種族はその數二十四あり、而して是等島民は各々人種、言語、宗教、傳說、習慣を異にし制據分立す、所謂比島獨立案が島民の爲め必ずしも理想的のものたらざるを知るべし、今開化族と蠻族との二大別を示せば左の如し。

一 開化族(耶蘇敎徒)

	種族名	據住地
1	パンガシナン	呂宋島パンガシナン州
2	イロカノ	呂宋島イロカノ州
3	カガヤン	呂宋島カガヤン州
4	ザムバラン	呂宋島ザムバレス州
5	タガローグ	呂宋島マニラ、カヴイテ州、リサール州、ラグナ州、ブラカン州、バタアン州、カマリネス州、ミントロト
6	ウキサヤン	パナイ島、ネグロス島の河岸セブー、ボホール、レイテ、サマル、マスバテ島全部、ミンダナオ島東北海岸
7	パンパンガ	呂宋島パンパンガ
8	ビコール	呂宋島アルバイ州、ソルソゴン州、カマリネス州

二 蠻族

9	ネグリト	呂宋島東北海岸、ザムバレス州の中央山間
10	イゴロツト	呂宋島ベンゲツト州、ヌエバヴイスカヤ州、ボントツク州、アブラ州、カガヤン州、イサベラ州等
11	ブキツドノン	呂宋島タヤバス州、同カマリネ州の一部、ネグロスト、パナイト内地の大部分
12	スバアス	ミンダナオ島、ザムボアンガ州
13	ビラン	ミンダナオ島南部ダバヲ州の一部、カトバト州の一部
14	マンゲヤン	ミンドロ島内地の大部分
15	アタ	ミンダナオ島カトバト州の一部
16	チルライ	ミンダナオ島カトバト州の一部
17	モーロー	ミンダナオ島、カトバト州の大部分、ダバオ州の一部、バシラン島、ホーロー島、タイタイ島全部

18	バタツク	パラグア島北部の一部
19	タグバヌア	パラグア島の大部分
20	マノボー	ミンダナオ島、スリガオ州の大部分
21	イロンゴット	呂宋島イサベラ州の一部
22	バゴボー	ミンダナオ島、ダバオ州の一部
23	タガカオロー	ミンダナオ島、ダバオ州の一部
24	マンダヤ	ミンダナオ島、スリカオ州及ダバオ州の一部

前記蠻族中識首を爲すものはモーロー族、イゴロット族の二なり。前者は南方の蠻族にして最も猛獰に、後者は呂宋島ベンゲット州を根據とし、容貌風俗習慣頗る日本人に類する所多しと稱せらる。比島の政治問題としては兎も角も比島獨立問題なり、所謂ジョーンス案は一九二一年を以て比島の獨立を現實せんとするものにして、之に對してはモーロー蠻族の爲めに敬慕せられて「君主」と仰がれたる米國第一流の比島通ジョン・フインスレー少佐の如き、其他紐育民主黨議員レッドフィールト氏の如き孰れも熱心なる非獨立論者あり。ウイルソン大統領の本案に對する所見如何と云ふに、ジョーンス案が獨立の期限を明示せるに反對し、飽迄も民主黨の政綱に掲げある「堅實なる政府の建設」を獨立の先決條件と見做すものゝ如し。

兵備に至りては比律賓師管（師團の上位に位すは全群島を管轄し之を呂宋及ミンダナオ地方管區に分つ。近時海

軍側にて問題たるものはコレヒドール島要港新設の一事にして、同要港にして新設に決せば現在のオロンガポー要港は放棄せらるべきか。

(19) 濠洲新交通地圖

最近十年間濠洲聯邦に於て政治的大勢力を得來りたる勞働黨は其の根本主義として所謂『白人濠洲』主義を唱導し、或は外國人移民制限法案(Aliens immigration Restriction Bill)を、或は太平洋諸島勞働者法案(Pacific island labourers Bill)(一九〇一年)を法律と成したるが如き狀勢なるにも關はらず、吾人の研究すべきは濠洲の人口問題なり。左の割合を記憶せよ

	總人口（人）	一平方哩に對する人口密度（人）
クヰンスランド	五七二、六五四	一・〇〇
ヴヰクトーリヤ	一、三〇三、三五七	一四・八三
ニユー・サウス・ウエールス	一、六二一、六七七	五・二二
南オーストラリア	四一六、〇四七	〇・四六
西オーストラリア	二七三、五四三	〇・二八
タスマニア	一八六、八六〇	七・一三

濠洲聯邦　四、三七四、一三八
ニュージーランド　一、〇二九、四一七

白耳義	七、三八六、四四四	人
伊太利	三四、二六九、七六四	
日本	五三、一二二、二〇六	
獨逸帝國	六二、九八二、〇〇〇	
支那	四三三、五五三、〇三〇	

今一九一三年一月廿七日英帝國殖民協會濠洲支部に於て行はれたりし濠洲殖民百二十五年祭は實に近時に於ける濠洲の進歩を證明したり。同協會高等委員の報告中に「濠洲物産の年額は既住十箇年に二倍し、海外貿易は二箇年間に三千萬磅の增加を爲し、移民數亦最近五年間に二倍以上の增加を爲したり」との言明を見る。蓋し最近十箇年間の進歩は一九〇一年一月一日濠洲聯邦の建成與かりて大に力なくんばあらず。

聯邦憲法に依り定められたる主なる政治機關左の如し

濠洲聯邦總督　英帝の親任、行政會議の議長、聯邦議會の召集停會解散等を行ふ。

行政會議　七大臣及副議長より成る。內閣會議は別に特立し、行政會議の各大臣のみにて組織せらる。

	一、四七	
	九、八三	
	六四九、四七	人
	三〇九、六九	
	三〇三、七〇	
	三〇一、六七	
	一〇一、三六	

聯邦議會　上下兩院より成る。上院は聯邦六州より各六名を選出し、下院は七十五人の議員を有す、各州その人口を基礎として議員を選出す。

現時に於ける濠洲聯邦の主要なる問題としては(一)國防問題(二)鐵道軌隔齊一問題(三)移民の精選等是なり。蓋し濠洲國防問題は最近數年間に在て著しく昂進し來りたる者にして、現に一九一一、二の兩年に在ては、人口一人に對する濠洲海陸軍の支出額は實に一磅十一志二片半の多額に達す（英本國は一人當り一磅七志七片半、南阿及加奈陀は孰れも六志餘）亦以て國防問題に熱狂の狀を想見すべし。次に各州鐵道軌隔の相異は聯邦の交通上一大支障たるが故に、軌隔の齊一を企圖し各州委員を召集して協議會を開催することゝせり。更に移民に至りては、聯邦が今後渡來を希望する移民は主として英國移民に在り。卽ち今一九一三年七月發布の移民制限法の改正は正に此本旨を明にせるものにして、濠洲聯邦醫局（コムモンウエルス・メヂイカル・ビユロー）を英國に特設し、以て移民をして英國出發前充分なる健康診斷を行ふことに改正したり。畢竟するに健全なる移民を以て濠洲の產業を振興せんとするに外ならず。

第二 國際關係地圖說明 終

支那既設鐵道列強關係圖

國際的
英國所有又は借款貸付
佛國同上
獨逸同上
白耳義所有又借款貸付
日本借款豫定線
日本航路
日清滊船

50 0 50 100 150 里

106 111 116

35 30 25

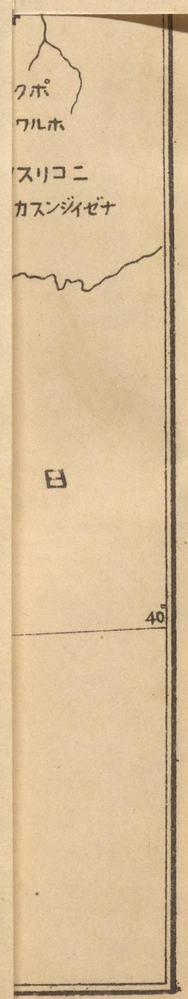
錦州 營口 大石橋 山海關 皇島秦 直隸省 北京 平閬 天津 沽太 順旅 連大 定保 定正 忻州 西原大 同大山 陝西省 蘭州 甘肅省 德州 南濟 州青 東島青 山黃省 河南省 平陽 澤州 德衛 輝衛 道口 開封 鄭州 河南 關潼 西安省 州徐 宿 江蘇省 陽鳳 安徽省 浦口 南京 鎮江 常州 蘇州 松宮 上海 楊子江 陽信 光州 廬州 慶安 州杭 浙江省 漢口 昌武 寧咸 斬漢 江九 昌南 江西省 州岳 湖庭洞 沙長 州衡 陽來 湖南省 州福 建省 基隆 淡水 基北 州韶 林桂 義興 南安 雄楚 雲南 曲靖 理大 永昌 騰 寧順 貴州省 陽貴 州瀘 慶重 都成 巫山州 宣昌 荊州 湖北省 中漢 安西省 關潼 州蒲 州澤 陽平 州蘭 甘肅省 陝西省 四川省

第二 國際關係地圖說明 終

國際關係地圖說明

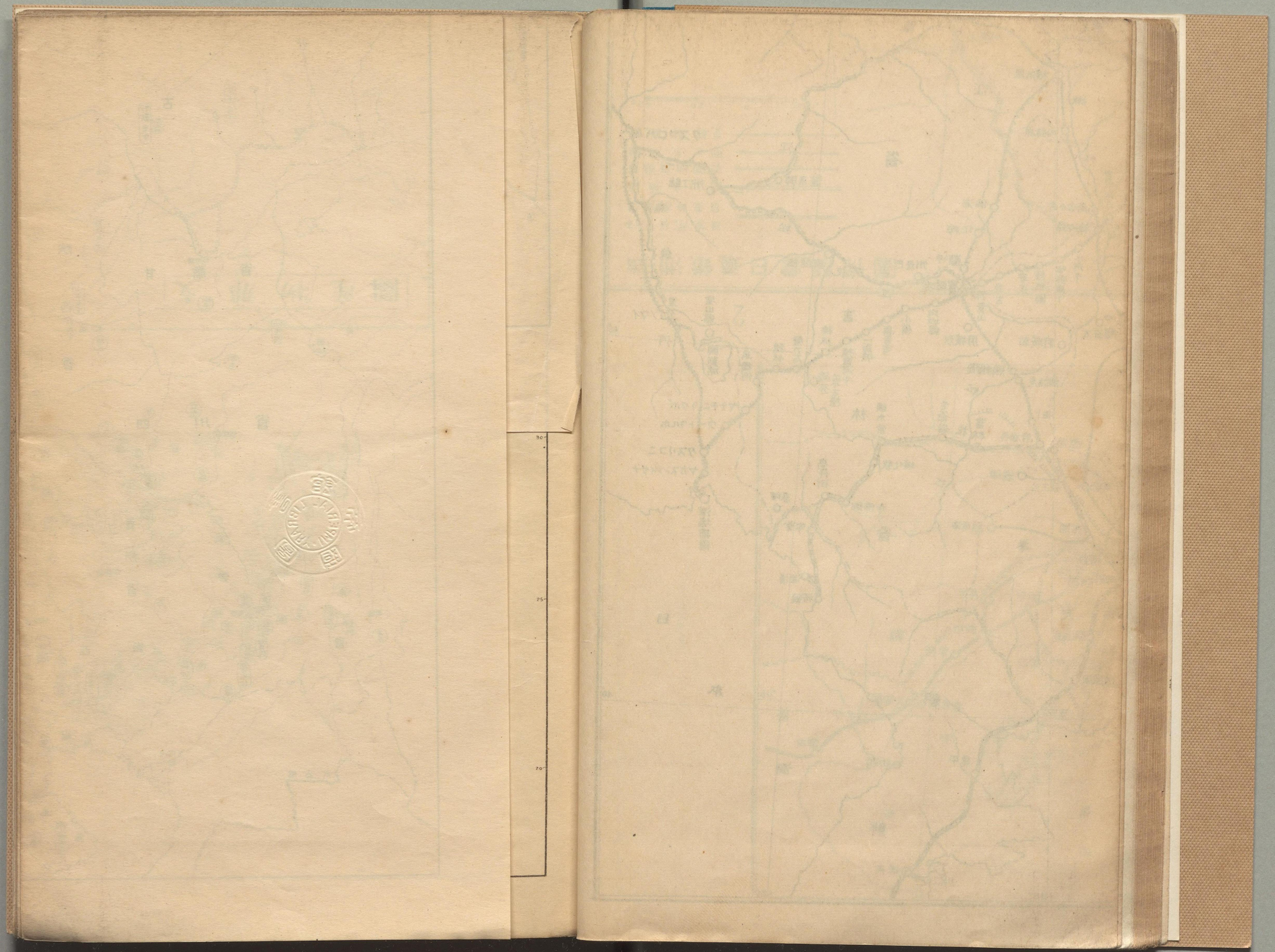
甘肅省
陝西省
山西省
河南省
河北省
山東省
江蘇省
安徽省
湖北省
湖南省
江西省
浙江省
福建省
臺灣
四川省
雲南省
貴州省
廣西省
廣東省
京東
蘭州
西安
中漢
成都
重慶
瀘州
昆明
貴陽
南寧
桂林
梧州
龍州
河口
老開
河內
海北
高州
廣州灣
大理
楚雄
南安
騰越
永昌
順寧
思茅
自蒙
百色
八渡
興義
曲靖
雲南
平陽
忻州
大原
正定
德州
南濟
青州
青島
兗州
沂州
道口
鄭州
開封
徐州
宿
蕭
碭山
宜昌
荊州
襄陽
信陽
光州
鳳陽
蚌埠
南京
鎮江
常州
蘇州
上海
松江
浦口
漢口
正昌
寧咸
岳州
洞庭湖
沙長
衡州
陽來
韶州
德英
東廣
九龍
香港
慶安
江九
昌南
沂漢
福州
泉州
廈門
汕頭
淡水
基隆
臺北
安平
打狗
25
30
35
101
111
116
121

帝國圖書館藏書



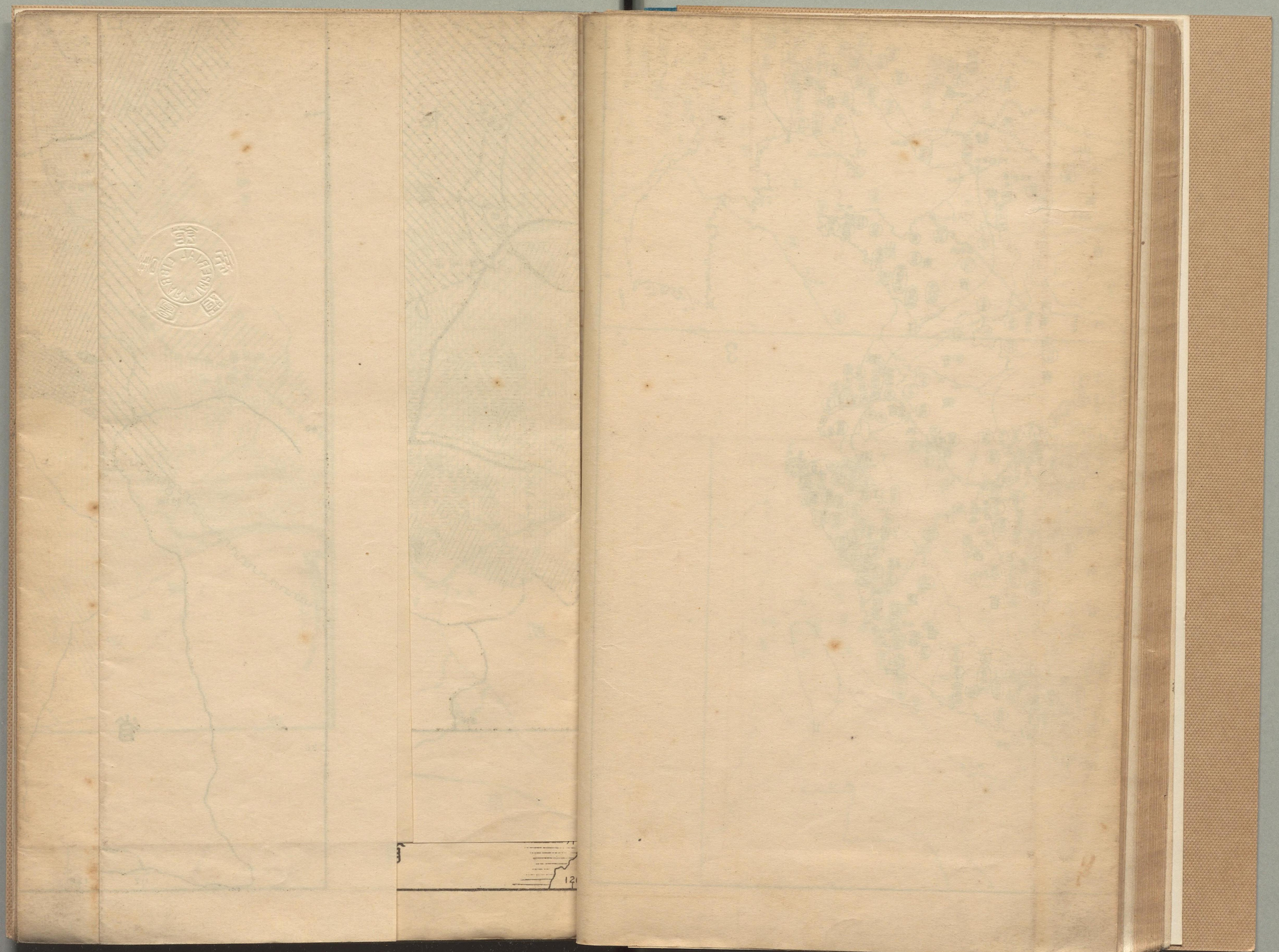
滿洲鐵道日露關係圖
日本所有又は日支共有鉄道
同上未成線
露國所有鉄道
同上未成線
支那計画線
20 0 20 40 里
115°
120°
125°
50°
45°
黑龍江省
黑龍江
古蒙
直隸
奉天
吉林
松花江
烏蘇里
日
サルーホ
イツルヤシツグ
滿洲里
海拉爾
オングン
哈克
雅克代
烏諾爾
興安
伊勒呼里
雅爾
ハイラス
成吉汗
富拉尔吉
蘭子山
齊々哈爾
昂々溪
小河子
喇嘛庙子
薩拉圖
安達
蒙古
對青山
哈爾賓
呼蘭
巴彦州
依蘭府
興東道
臨江州
クスフロバハ
烏蘇里
ソマイ
河
蜜山縣
興凱湖
馬橋河
ヤナチニラクポ
ウートワルホ
クスリコニ
ヤカスンジイゼナ
浦塩斯德
阿城縣
小嶺
烏吉蜜
一面城
橫道河子
梅林
磨刀石
穆林
綏芬
(寧古塔)
双城府
新城府
大賚廳
洮南府
陶賴照
老燒烟
海卜
長春府
懷德
伊通
公主嶺
鄭家子
開原
海竜城
敦化城
寺佛銅
局仔街
春琿
會寧
清津
鏡城
奉天
鉄嶺
撫順
新民屯
彰武
義州
溝帮子
遼陽
遼河
台烟
連山關
錦州
寧遠
海城
哈特布
嫩江
黑尔根
大黑河
クスンェチシェウコラブ
愛琿
龍江
松花江
烏蘇里
河

50°
45°
40°
120°
125°
130°
龍江省
古蒙
直隸
奉天省
吉林省
朝鮮
日本
黃海
渤海
海
黑河
大黑河
クスソェチシェウコラブ
サルーホ
イツルヤシツグ
海拉爾
オングン
哈克
雅克代
烏諾爾
興安
伊勒呼里
雅爾
ハイラス
成吉汗
富拉爾吉
蘭子山
齊々哈爾
昂々溪
小河子
喇嘛庙子
薩拉圖
安達
蒙古
對青山
哈爾賓
呼蘭
巴彦州
海倫
綏化
黑爾根
嫩
布特哈
依蘭府
興東道
臨江州
クスフロバハ
烏蘇里
ソマイ
興凱湖
蜜山縣
馬橋河
穆林
磨刀石
梅林
橫道河子
綏芬
一面城
烏吉蜜
小嶺
阿城縣
双城府
新城府
大賚廳
洮南府
陶賴照
老燒烟
海卜
長春府
懷德
伊通
公主嶺
鄭家子
老爺嶺
額木索
敦化城
局仔街
寺佛銅
春琿
會寧
清津
鏡城
浦塩斯德
ヤナチニラクポ
ウートワルホ
クスリコニ
ヤカスンジイゼナ
海竜城
開原
鐵嶺
奉天
撫順
新民屯
義州
子帮
瀋
遼陽
台烟
連山關
錦州
寧遠
海城
大石橋
營口
蓋平
鳳凰城
熊岳城
泰皇島
山海關
永平
塘沽
普蘭店
金州
大連
旅順
東安
平襄
元山
京城
仁川



支那物産圖
外蒙古
內蒙古
黑龍江省
吉林省
盛京省
直隷省
山西省
陝西省
甘粛省
四川省
山東省
河南省
江蘇省
安徽省
湖北省
湖南省
江西省
浙江省
福建省
貴州
黑龍江
松花江
黃河
北京
天津
大沽
山海関
奉天
吉林
哈爾賓
安東
芝罘
濟南
大原
保定
楡林
蘭州
西安
開封
河南
成都
重慶
漢口
武昌
岳州
長沙
常徳
九江
南昌
南京
上海
杭州
寧波
安慶
貴陽
山羊毛皮
羊毛
野獸毛皮
牛皮
高梁
小麥
大豆
木材
石炭
棉花
落花生
米
茶
鐵
煙草
塩

内蒙古
野獣毛皮
甘粛省
陝西省
山羊毛皮
山羊皮
綿羊毛皮
綿花
石油
蘭州
西安
寧夏省
山西省
西原
大同
太原
河南省
開封
河南
河北省
北京
天津
滄県
滄州
石炭
西瓜種
落花生
山東省
青島
煙台
膠州湾
膠州
南京
蘇省
安徽省
江蘇省
上海
浙江省
杭州
福建省
福州
廈門
台湾
台北
台南
高雄
湖北省
武漢
漢口
湖南省
長沙
岳州
江西省
南昌
貴州省
貴陽
雲南省
昆明
四川省
成都
重慶
宜昌
沙市
廣東省
広州
香港
広西省
南寧
梧州
桂林
海南島
海口
瓊州
西康省
雅安
打箭炉
江孜
拉薩
ヤルツアンポ江
怒江
瀾滄江
金沙江
揚子江
黄河
珠江
閩江
白河
遼河
松花江
興安嶺
長白山
満洲
奉天
吉林
長春
哈爾濱
黒龍江省
チチハル
齊々哈爾
満洲里
ハイラル
海拉爾
ジャライノール
呼倫湖
ダライノール
ホロンバイル
ウルガ
庫倫
ゴビ砂漠
アルタイ山脈
ウルムチ
烏魯木齊
トルファン
吐魯番
カシュガル
喀什噶爾
ヤルカンド
葉爾羌
ホータン
和闐
ロプノール
タリム河
ヒマラヤ山脈
ブラマプトラ河
インド
ビルマ
仏印
タイ
シャム
ラオス
カンボジア
マラッカ
シンガポール
スマトラ
ジャワ
ボルネオ
セレベス
フィリピン
マニラ
台湾
澎湖島
琉球
那覇
沖縄
小笠原島
父島
母島
硫黄島
ウェーク島
グアム島
サイパン島
トラック島
ヤップ島
パラオ諸島
ニューギニア
ソロモン諸島
ニューブリテン島
ニューアイルランド島
ビスマルク諸島
ラバウル
ブーゲンビル島
ブカ島
ブイン
ショートランド島
ガダルカナル島
ツラギ
ニューカレドニア
ヌメア
ニューヘブリデス諸島
フィジー諸島
スバ
ロツマ島
サモア諸島
ウポル島
アピア
ツツイラ島
トンガタブ島
ヌクアロファ
ニュージーランド
オークランド
ウェリントン
クライストチャーチ
ダニーデン
南島
北島
タスマニア島
ホバート
オーストラリア
ブリスベン
シドニー
メルボルン
アデレード
パース
フリーマントル
ダーウィン
ケープタウン
ヨハネスブルグ
ダーバン
ポートエリザベス
ケープ植民地
ナタール
トランスバール
オレンジ自由国
ローデシア
ビクトリア瀑布
ベチュアナランド
ケープタウン
ウォルビスベー
ナミビア
ウィントフック
ポルトガル領東アフリカ
ロレンソマルケス
ベイラ
ニアサランド
ブランタイア
ザンベジ河
ザンベジア
ポルトガル領西アフリカ
アンゴラ
ロアンダ
ベンゲラ
ベルギー領コンゴ
レオポルドビル
エリザベートビル
ルアンダ
ウジジ
タンガニーカ湖
ルアンダ
ブルンジ
ウスンブラ
ルアンダ
ルワンダ
ルアンダ
ウガンダ
カンパラ
ビクトリア湖
ケニア
ナイロビ
モンバサ
ケニア山
キリマンジャロ山
タンガニーカ
ダルエスサラーム
ザンジバル島
ザンジバル
ペンバ島
ポルトガル領東アフリカ
ロレンソマルケス
ベイラ
ニアサランド
ブランタイア
ザンベジ河
ザンベジア
ポルトガル領西アフリカ
アンゴラ
ロアンダ
ベンゲラ
ベルギー領コンゴ
レオポルドビル
エリザベートビル
ルアンダ
ウジジ
タンガニーカ湖
ルアンダ
ブルンジ
ウスンブラ
ルアンダ
ルワンダ
ルアンダ
ウガンダ
カンパラ
ビクトリア湖
ケニア
ナイロビ
モンバサ
ケニア山
キリマンジャロ山
タンガニーカ
ダルエスサラーム
ザンジバル島
ザンジバル
ペンバ島



116
120
124
128
136
140
52
48
44
貝
後
ストレテンスク
シルカ河
アルグニ河
黒
龍
江
省
黒
龍
江
州
沿
海
黒
龍
江
州
ニコラエフスク
フラゴウェエシチェンスク
ゼヤ河
愛琿
満洲里
呼倫廳
(海拉尔)
嫩江府(墨尔根)
嫩江
外
貝尔池
龍江府(齊々哈尔)
クスフロバハ
臨江府
松
吉
林
花
江
牡丹江
哈尔賓
阿城縣(阿什河)
双城府(双城堡)
新城府(新都伯)
南松花江
洮南府
内
蒙
寧安府(寧古塔)
興凱湖
クスリコニ
日

104
108
112
116
120
124
128
48
44
貝加尔湖
イルクツク
後貝加爾州
ストレテンスク
シルカ河
アルグン河
黒龍江省
黒龍江
フラゴウェエシチェンスク
ゼヤ河
瑾愛
恰克圖
賣買城
満洲里
呼倫廳
(海拉尔)
嫩江府(墨尔根)
嫩江
庫倫
車臣汗部
外蒙古
貝尔池
龍江府
(齊々哈尔)
綏化府
松花江
哈尔賓
牡丹江
阿城縣
(阿什河)
双城府
(双城堡)
新城府
(伯都納)
南松花江
洮南府
内蒙
寧安府
(寧古塔)
林

東蒙滿洲一帶
住民種別區分圖
朝鮮人
漢人
漢蒙混淆
蒙古人
滿洲旗人
索倫及達虎里蛮族
ゴリッド(達子)人
露人
ブリヤート蒙古人
無人ノ境
國界
省界
開放地界
長城
邊柵
鐵道
都邑
日本海
朝鮮
黃海
東省
奉天省
遼東灣
渤海
直隸海峽
黃河
山東
蒙
直隸
內
吉林省
松花江
牡丹江
興凱湖
ウスリコニ
浦塩斯德
延吉府
琿春廳
寧會
長白府
興京府
北山城子
鐵嶺縣
新民府
遼陽州
海城縣
大石橋
營口廳
安東縣
鴨綠江
元山
平壤
京城
大連
旅順
山海關
天津
大沽
保定府
通州
永平
古北口
承德
朝陽
多倫諾尔
林西縣
遼源州
昌圖府
新城府
洮南府
雙城府
阿城縣
寧安府
吉林府
龍江府
綏化府
哈尔賓
依蘭府
濟南府
膠州
膠州灣
威海衛
芝罘
登州
120
124
128
44
40

蒙古
海
瀚
蒙
古
內
直
隸
省
山
西
省
省
東
省
山
東
省
遼
東
灣
渤
海
直隸海峽
黃
海
朝
鮮
奉
天
省
吉林省
松
花
江
牡
丹
江
南
松
花
江
鴨
綠
江
黃
河
龍江府
(齊哈爾)
綏化府
哈爾賓
阿城縣
(阿什河)
雙城府
(雙城堡)
新城府
(伯都納)
洮南府
林西縣
遼源州
(鄭家屯)
昌圖府
北山城子
鐵嶺縣
興京府
長白府
新民府
奉天府
朝陽
錦州府
遼陽州
海城縣
大石橋
營口廳
承德
張家口
大同
古北口
北京
通州
永平
山海關
保定府
天津
大沽
正定
大原
平定
大連
旅順
安東縣
平壤
元山
京城
登州
芝罘
威海衛
濟南府
膠州
膠州灣
44
40
36
112
116
120
124
128

帝國圖書館藏書

露國配兵圖

阿移民機關配置

西伯利亞

蒙古

新疆

滿洲

歐

亞

波斯

阿富汗斯坦

土耳其斯坦

裏海

アラル海

バイカル湖

シカルバ湖

黒龍江

ムルペ

ニメーチ

クスンビヤリエチ

クスムオ

クスムト

クスルヤノスラク

ラマサ

XXIV

シザカ

獨立西伯利第十一師團

西伯利第三軍團

クツークルイ

クスンジヴネフルェウ

タチ

西伯利第五軍團

クスンジェチシェウゴラブ

西伯利第四軍團

ハバロフスク

多哈布

後黒龍護境軍團

齊爾哈

子河道橋

浦塩斯徳

オキエスク

天秦

北京

城京

タシケント

土耳其斯坦第一軍旅團

土耳其斯坦第二軍旅團

ドンカルマサ

ツーメルテ

ブルメ

ドッバハスア

クバ

第六土耳其斯坦狙擊旅團

イスルーエウ

凡例

- 移民官駐在地
- 糧食庫駐在地（醫官駐在）
- 糧食庫駐在地（副醫官駐在）
- 移民地域中ノ小村落（醫官駐在）
- 移民地域中ノ小村落（副醫官駐在）
- 官設農具倉庫
- 官設木材倉庫
- 支隊 後黒龍護境軍團
- （師團）＋（旅團）歐露（高加索・土耳其斯坦）軍團
- （師團ニシテ平時ヨリ略）＋戰時定員ヲ有ス 西伯利軍團

60　80　100　120　140

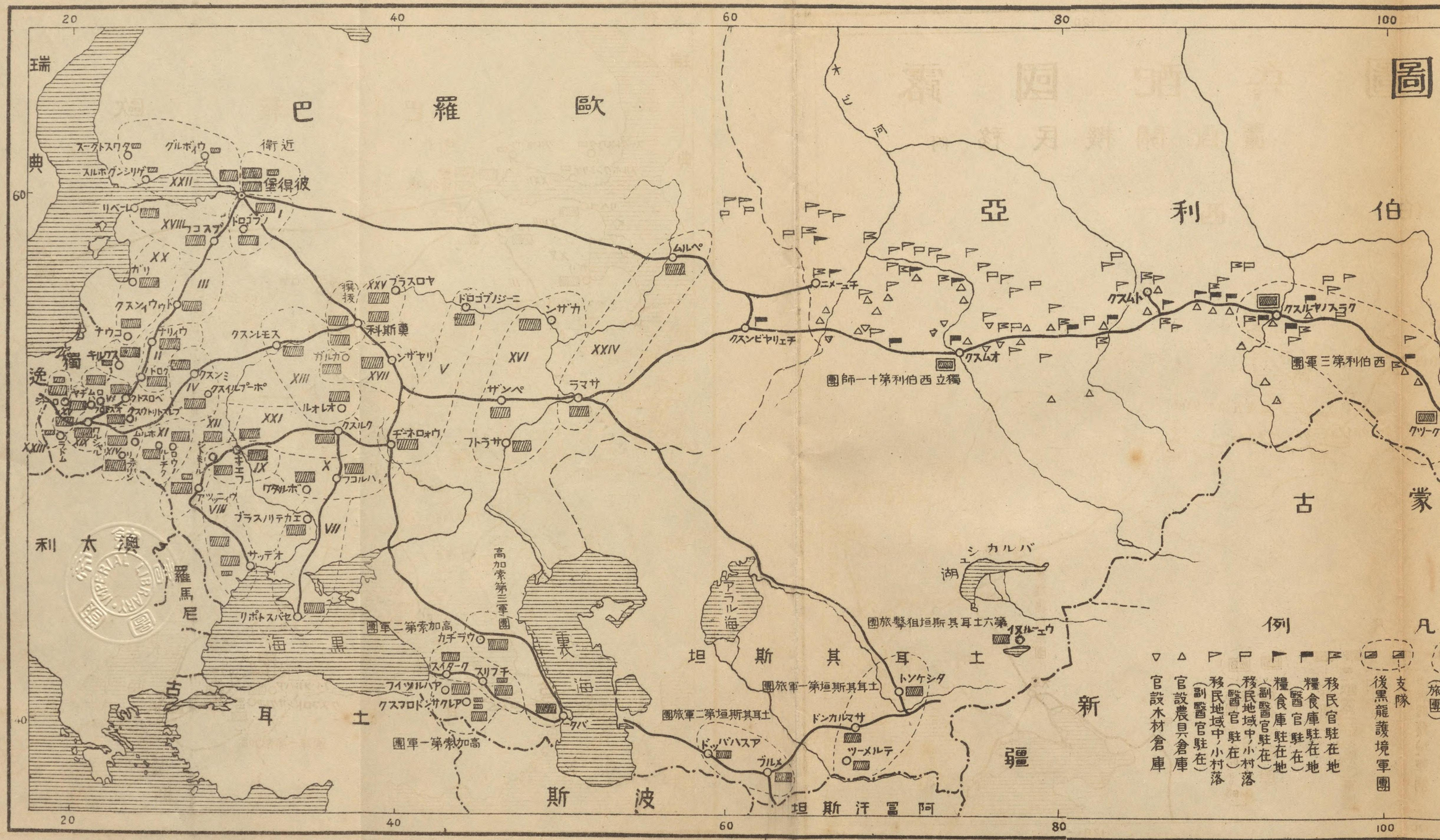
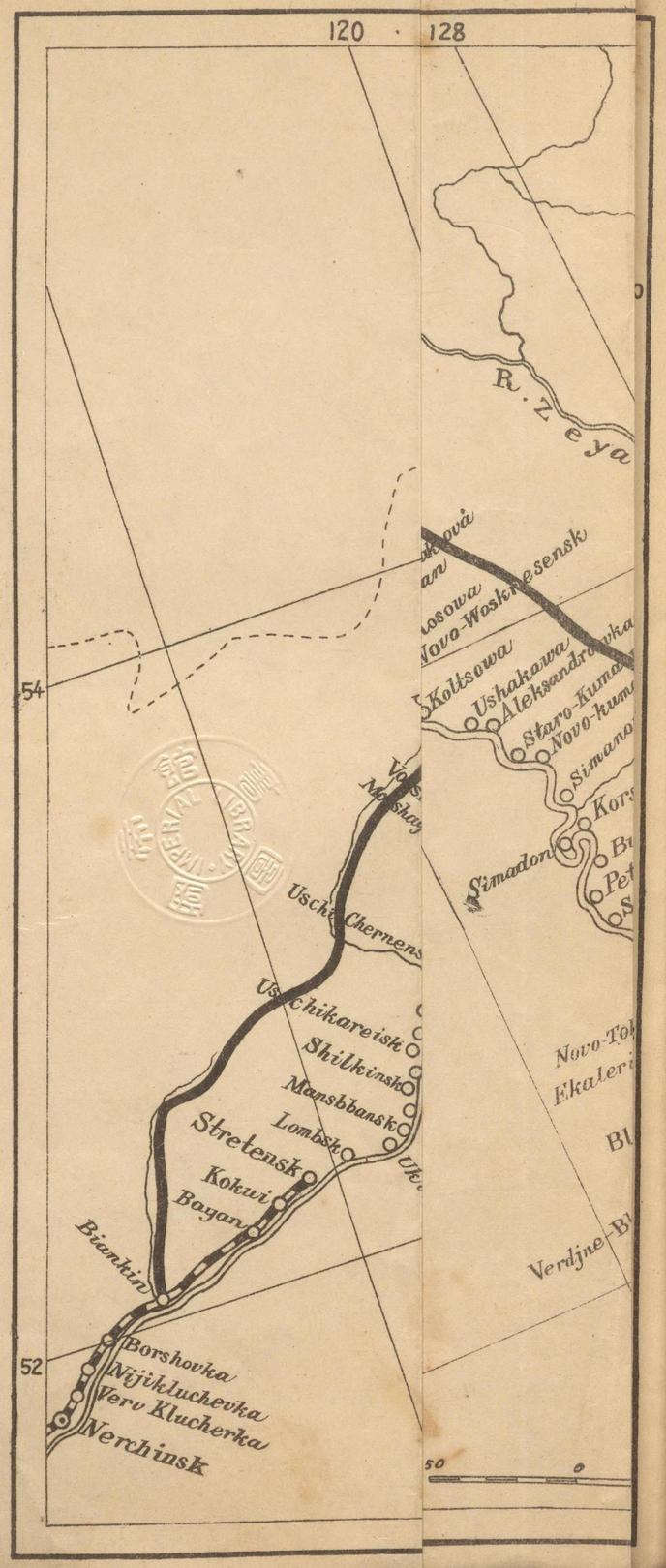
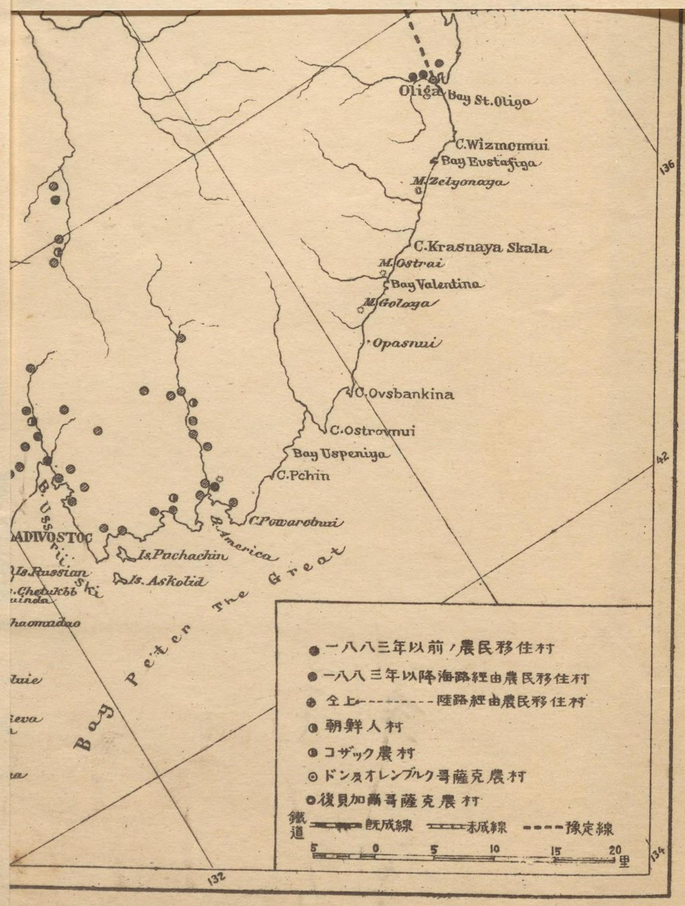


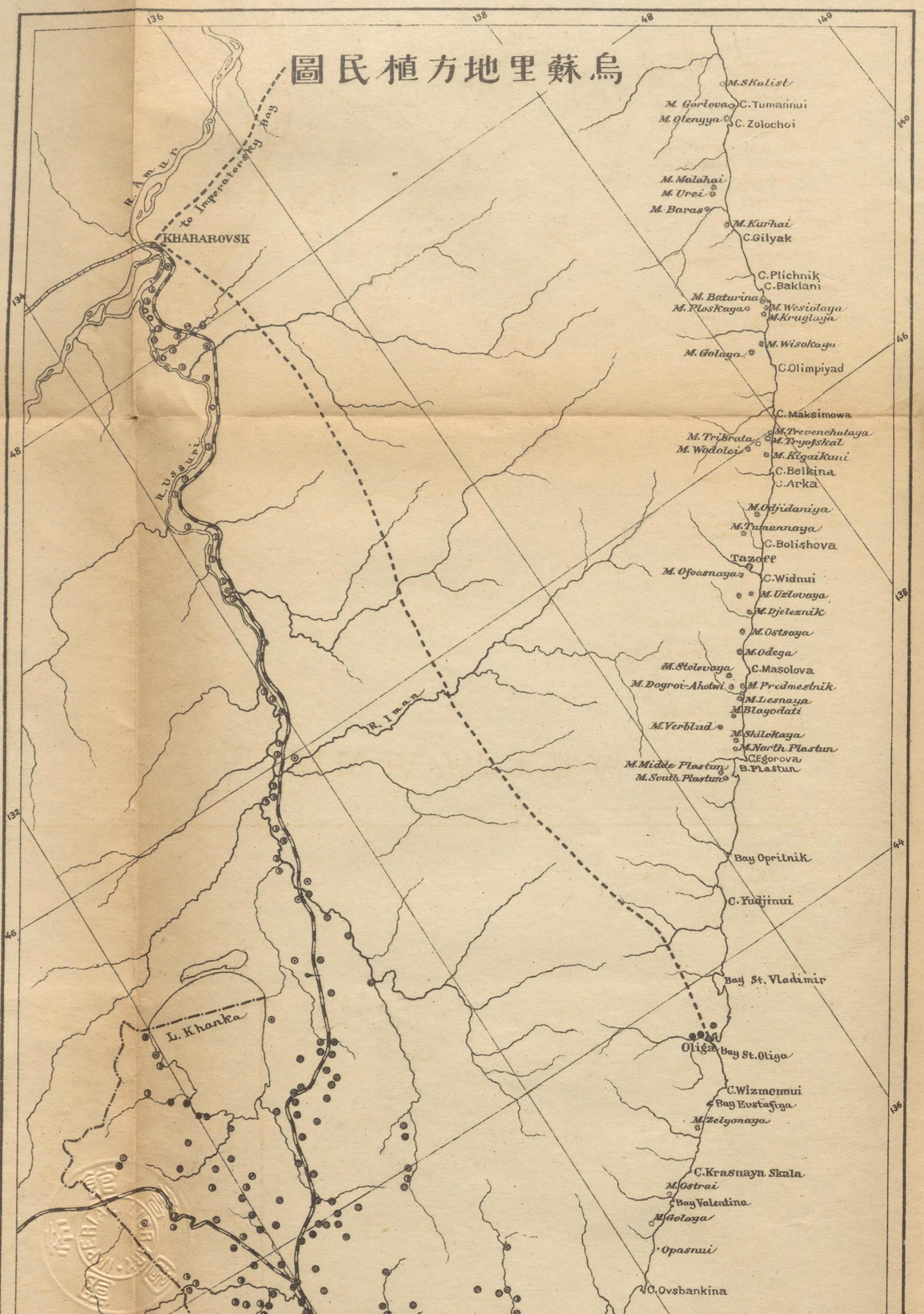
圖
歐羅巴
亞利伯
古蒙
新疆
瑞典
獨逸
利太澳
羅馬尼
古耳土
黑海
裏海
波斯
阿富汗斯坦
土耳其斯坦
土耳其斯坦第一軍旅團
土耳其斯坦第二軍旅團
第六土耳其斯坦狙擊旅團
獨立西伯利第十一師團
西伯利第三軍團
高加索第二軍團
高加索第三軍團
高加索第一軍團
支隊
後黑龍護境軍團
移民官駐在地
糧食庫駐在地
(醫官駐在)
糧食庫駐在地
(副醫官駐在)
移民地域中ノ小村落
(醫官駐在)
移民地域中ノ小村落
(副醫官駐在)
官設農具倉庫
官設木材倉庫


120
128
54
52
R. Zeya
Novo-Woskresensk
Koltsowa
Ushakawa
Aleksandrowka
Simadon
Uschi Chernens
Uschikareisk
Shilkinsk
Mansbbansk
Lombsk
Stretensk
Kokui
Bayan
Biankin
Borshovka
Nijikluchevka
Verv Klucherka
Nerchinsk
Novo-Tok
Ekaleri
Verdjne-Bl
50
0

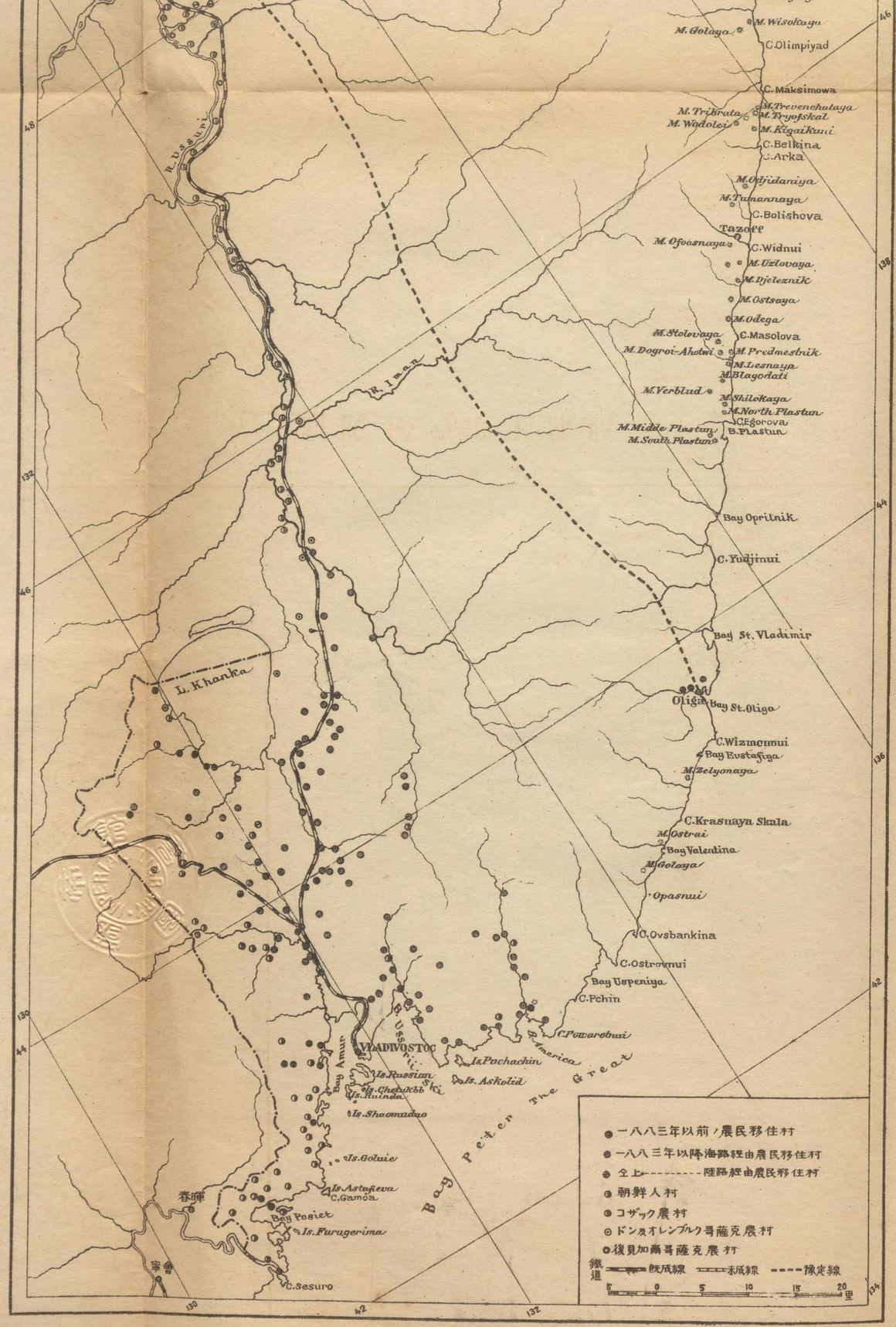
黑龍江鐵道線路圖
阿黑龍江滊船繫留所
Zeya
R. Zeya
Mayanova
Ekaterinoslavka
R. Bureye
Blagoweshchensk
Verdjne-Blagoweshchenskaya
Grodekovo
Bordo No 1.
Djo-Aigun
Aigun
Kropatkinski
Neodidannaya
Korfofski
Peynovski
Niymennaya
Konschachinovka
Suichevka
Novo-Swichevskaya
Toyarkowa
Washilievka
Chesnokovka
Kupuriyanovka
Nikoliskaya
Skobelishna
Dunokenchievskaya
Arkadii-Semenovskaya
Mihairovskaya
Kasatkina
Sachiwowa
Tashkowa
Strojevka
Bashurowa
Radde
Dichun
Mariinski
Tompeevka
Hingan
Tolikarnovka
Soyuynaya
Ekaterino-Nikoliskse
Blagoslawennoe
Tuyino
Nagibowa
Dobraya
Wentseleva
Kwashnana
Dejineva
Novaya
Kukeleva
Mihairo-Semenovskaya
Woskresenskoe
Stepanovka
Golowinski
Woynesenskoe
st. Petrovskaya
Lugowoi
Zaberovo
W. Spasskaya
N. Spasskaya
Novgorodskaya
Habarovsk
Kayakewichevo
Tryof-Swyachitelni
R. Sungari
R. Kur
Chernyawa
Torai
Kuynetsowa (Angam)
Ermakova
Novo-Ermakova
Tsagayan
Anosowa
Novo-Woskresensk
Koltsowa
Ushakawa
Aleksandrovka
Staro-Kumarskaya
Novo-kumarskaya
Simanowa
Korsakowa
Busewa
Simadon
Petropavrovskoe
Suhotina
Bibikowa
Sergeevka
Mihairovka
Sredneberovskoe
Markowo
L. Dolgoe
Dgnachiewa
Novo-Tokrovka
Ekaterininskaya
Kuynetsowa (Angam)
Zeya
50
48
140
44
40
50 0 50 100 露里
126
128
130
132
134
既成線
未成線
豫定線

120
122
124
126
128
54
52
118
Zeya
R. Ur
R. Zeya
Tolbujina
Beketowa
Permikina
Beitonowa
Woskresenskaya
Albayin
Beinowa
Orlowa
Elnichinaya
Swilbeewa (Oldoi)
Sgibnewa
Ur. Peschryaki
Amayar
Utesinaya
Povorotnaya
Karaganskoe
Anikinsk
Chasoaya
Sobolinaya
Pokrovskaya
Vosklesensk
Mashagdjinsk
Gorbitsa
Uschi Chernensk
Uschikareisk
Uschi-Kurassk
Ludjankinsk
Shilkinsk
Slaro Lonshakovsk
Mansbbansk
Ulegichensk
Lombsk
Uktichinsk
Stretensk
Kokui
Bayan
Biankin
Borshovka
Nijikluchevka
Verv Klucherka
Nerchinsk
Waganowa
Olgina
Chernyawa
Torai
Kuynetsowa (Angam)
Ermakova
Novo-Ermakova
Tsagayan
Anosowa
Novo-Woskresensk
Koltsowa
Ushakawa
Aleksandrowka
Staro-Kumarskaya
Novo-kumarskaya
Simanowa
Korsakowa
Simadon
Busewa
Petropavrovskoe
Suhotina
Bibikowa
Sergeevka
Mihairovka
Markowo
L. Dolgoe
Dgnachi
Novo-Tokrovka
Ekaterininskaya
Blagoweshchensk
Verdjne-Blagoweshchenskaya
Aigun
Kropatkinsk
Neodidanna
Korfofs
R. Zeya
50
0
50
116
120
124
128
132
136
56
52
48
140
44
40
黑龍江鐵道
クスンヒチシェウゴラフ
クスンヒチシェウゴラフ
クスフロバハ
クスリコニ
ナリカ湾
ネルチンスク
キタイスキラツエヅド
チタ
滿洲里
東清鐵道
海拉爾
齊哈爾
松花江
烏蘇里線
ハバロフスキー湾
0 10 20 30 40 50 里


Oliga
Bay St. Oliga
C. Wizmotnui
Bay Evstafiga
M. Zelyonaya
C. Krasnaya Skala
M. Ostrai
Bay Valentina
M. Golaya
Opasnui
C. Ovsbankina
C. Ostrovnui
Bay Uspeniya
C. Pchin
C. Povorotnui
R. Amerika
Is. Pachachin
Is. Askold
Is. Russian
Bay Peter the Great
136
42
132
134
一八八三年以前ノ農民移住村
一八八三年以降海路經由農民移住村
仝上--------陸路經由農民移住村
朝鮮人村
コザック農村
ドン及オレンブルク哥薩克農村
後貝加爾哥薩克農村
鐵道 既成線 未成線 豫定線
5 0 5 10 15 20 里



烏蘇里地方植民圖
R. Amur
to Imperatorsky Bay
KHABAROVSK
R. Ussuri
R. Iman
L. Khanka
M. Skalist
M. Gorlova
C. Tumannui
M. Olenyya
C. Zolochoi
M. Malahai
M. Urei
M. Baras
M. Kurhai
C. Gilyak
C. Plichnik
C. Baklani
M. Baturina
M. Ploskaya
M. Wesiolaya
M. Kruglaya
M. Wisokaya
M. Golaya
C. Olimpiyad
C. Maksimowa
M. Trevenchataya
M. Tribrata
M. Tryofskal
M. Wodolei
M. Kigaikani
C. Belkina
C. Arka
M. Odjidaniya
M. Tumannaya
C. Bolishova
Tazoff
M. Ofoasnaya
C. Widnui
M. Uzlovaya
M. Djeleznik
M. Ostsaya
M. Odega
M. Stolovaya
C. Masolova
M. Dogroi-Ahotwi
M. Predmestnik
M. Lesnaya
M. Blagodati
M. Verblud
M. Shilokaya
M. North Plastun
C. Egorova
M. Middle Plastun
B. Plastun
M. South Plastun
Bay Opritnik
C. Yudjinui
Bay St. Vladimir
Oliga
Bay St. Oliga
C. Wizmonnui
Bay Eustafiya
M. Zelyonaya
C. Krasnaya Skala
M. Ostrai
Bay Valentina
M. Golaya
Opasnui
C. Ovsbankina



M. Golaya
M. Wisokaya
C. Olimpiyad
C. Maksimowa
M. Trevenchataya
M. Tribrata
M. Tryofskal
M. Wodolei
M. Kigaikuni
C. Belkina
C. Arka
M. Odjidaniya
M. Tumannaya
C. Bolishova
Tazoff
M. Ofoasnaya
C. Widnui
M. Uzlovaya
M. Djeleznik
M. Ostsaya
M. Odega
M. Stolovaya
C. Masolova
M. Dogroi-Ahotwi
M. Predmestnik
M. Lesnaya
M. Blagodati
M. Verblud
M. Shilokaya
M. North Plastun
C. Egorova
M. Middle Plastun
B. Plastun
M. South Plastun
Bay Opritnik
C. Yudjinui
Bay St. Vladimir
Oliga
Bay St. Oliga
C. Wizmonnui
Bay Evstafiya
M. Zelyonaya
C. Krasnaya Skala
M. Ostrai
Bay Valentina
M. Golaya
Opasnui
C. Ovsbankina
C. Ostrovnui
Bay Uspeniya
C. Pchin
C. Powarotnui
B. America
Is. Pachachin
Is. Askolid
Bay Peter The Great
VLADIVOSTOC
Bay Amur
Is. Russian
Is. Chetukbb
Is. Ruinda
Is. Shaomudao
Is. Goluie
Is. Astafieva
C. Gamoa
Bay Posiet
Is. Furugerima
C. Sesuro
春暉
寧會
R. Ussuri
R. Iman
L. Khanka
一八八三年以前ノ農民移住村
一八八三年以降海路經由農民移住村
仝上 陸路經由農民移住村
朝鮮人村
コザック農村
ドン及オレンブルク哥薩克農村
後貝加爾哥薩克農村
鐵道 既成線 未成線 豫定線
5 0 5 10 15 20 里

HARVARD COLLEGE LIBRARY

32 36 40 44 48 52 52

Atbasarski
Akmolinsk
Turgai
Semipalatinsk
Kamenogorsk
Karkaralinsk
Sergiopol
Irgiz
L Chular-Tenchiz
Kazalinsk
Perovsk
L. Balkash
Lepsink
Turkestan
Auliate
Ilusk
Vernoe
Tokmak
Issik Kul
Karakol

TURGAICK PROV.
AKMOLINSK PROV.
SEMIPARATINSK PROV.
SEMIRIETSHENSK PROV.
SYR-DARINSK PROV.

48
44

20
24
28
32
36
40
48
44
Orenburg
Iletsuk
Orsk
Atbasarski
Aktubinsk
Turgai
URALSK
PROV
Temir
TURGAICK
PROV.
AKMOLI
PROV
Irgiz
Guriev
Tsesarewich Bay
L Chular-Tenchiz
Aral
Sea
Kazalinsk
Perovsk
Caspian Sea
Ust Urt
Chimoli
Turkestan
Nukus
Kinchak
SYR-DARINSK
PROV.
TRANS

中央亞細亞交通圖

境國
內管府督總
界州
邑都
台砲
道鐵設既
線畫計定次
線畫計定隊
路商隊

Kazalinsk
Perovsk
L. Balkash
Lepsink
SEMIRIETSHENSK PROV.
Ilusk
Vernoe
Turkestan
SYR-DARINSK PROV.
Auliate
Tokmak
Issik Kul
Karakol
Chimkent
M. Tokchta
Narin
Tashkent
Namagan
Anditjan
Nur-Ata
SAMARKAND PROV.
Khokan
Gushi-Duvan
Kermine
Jisak
Khojend
Osh
Margilan
Bokhara
FERGNASK PROV.
Samarkand
喀什噶爾
Chardjui
Shari-Sabz
BOKHARASK PROV.
Hissar
Andkia
Mazari-Schepiff
AFGHANISTAN
Kushki

44
40
36

Caspian Sea

Aral Sea

Ust Urt

TRANS CASPIAN PROV.

SYR-DARINSK PROV.

SAMARKAND PROV.

BOKHARASK PROV.

FERG

PERSIA

AFGHANISTAN

Karabugaz Bay

M. Tokchta

Kazalinsk

Perovsk

Turkestan

Auliat

Chimkent

Tashkent

Jisak

Khojend

Samarkand

Nur-Ata

Gushi-Duvan

Kermine

Bokhara

Chardjui

Shari-Sabz

Hissar

Andkia

Mazari-Schepiff

Chimoii

Nukus

Kinchak

Gurlen

Khazavat

Urchench

Khiva

Petro-Alexsand

Krasnovodsk

Kisil-Arvat

Askhabad

Astrabad

Merv

Meshed

Kushki

44

40

36

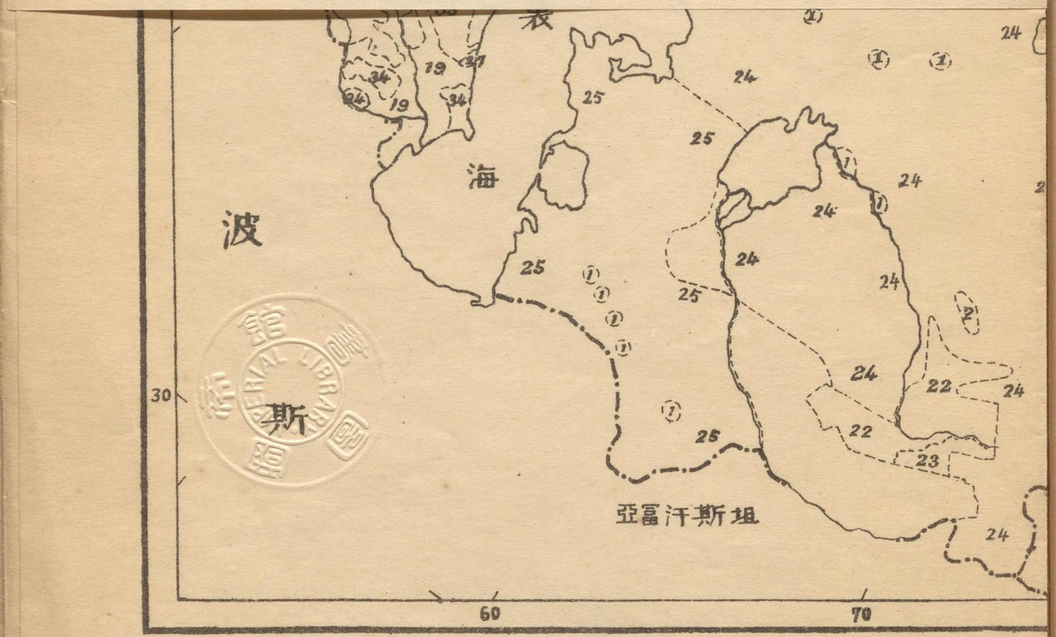
24

28

32

36

40



國立中央圖書館 NATIONAL CENTRAL LIBRARY

スラヴ族

1 大露西亞人	2 小露西亞人	3 白露西亞人	4 波蘭人	5

芬蘭族

15 ウオグール人	16 サモエード人	17 オスチヤーク人	18 ソイオート人	19

蒙古族

29 ブリヤート人	30 トゥングス	31 カルムック人	32 滿洲人 漢人 朝鮮人	33

イベリ
勘察加
4

露國

蒙古

大日

露國民族分布圖

族

西亞人 4 波蘭人 5 ブルガール

リトワ族

6 リトワ人シムディン人・ラトイシ人

7 フォン人 8 エスト人 リワ人 9 ロパリ人 10 モルドワ人

芬蘭族

11 チェレミス人 12 ウォチャク人 13 ペルミャーク人 14 ヅヰリャーン人

トゥルクメン族

ヤク人 18 ソイオート人 19 韃靼人 20 バシキール人 21 チュワシ人 22 サルト人 23 タッヂーク人 24 キルギス人 ブルト人 25 チュワシ人 26 ノガイツ人 27 クムヰク人・カラチャエフツ人 28 ヤクート人

ヰク人 32 滿洲人 漢人 朝鮮人

イベリヤ族

33 グルジン人・イメペチン人 プシャワ人

イラン族

34 アルメニヤ人 オセチン人 タート人 クルド人

高加索山系族

35 チェチェンツ人 アワルク人 キュリンツ人 アドゥヰゲ人

ゲルマン族

36 獨逸人 37 瑞典人 諾威人

ペラスグ族

38 希臘人

ロマン族

39 ルーメニヤ人

勘察加族

40 ユカギール人 41 コリャーク人 42 チュクチ人

勘察加族

43 カムチャダール人

雜族

44 ギリャーク人 45 アイノ人 46 支那人 47 朝鮮人

帝國圖書館 PERIAL LIBRARY

スラヴ族

1 大露西亞人　2 小露西亞人　3 白露西亞人　4 波蘭人　5 ブルガール

リトワ族

6 リトワ人シムディン人・ラトイシ人　7 フォン人　8 エスト人 リワ人　9 ロパリ人　10 モルドワ人　11 チェレミス人

芬蘭族

15 ウォグール人　16 サモエード人　17 オスチャーク人　18 ソイオート人

トゥルクメン族

19 韃靼人　20 バシキール人　21 チュワシ人　22 サルト人　23 タッヂーク人　24 キルギス人 ブルト人　25 チュワシ人

蒙古族

29 ブリャート人　30 トゥングス　31 カルムヰク人　32 滿洲人 漢人 朝鮮人

イベリヤ族

33 グルジン人・イメペチン人 プシャワ人

イラン族

34 アルメニヤ人 オセチン人 タート人 クルド人

高加索山系族

35 チェチェンツ人 アワルク人 キュリンツ人 アドゥヰゲ人

ゲルマン族

36 獨逸人　37 瑞典人 諾威人

ペラスグ族

38 希臘人

ロマン族

39 ルーメニヤ人

勘察加族

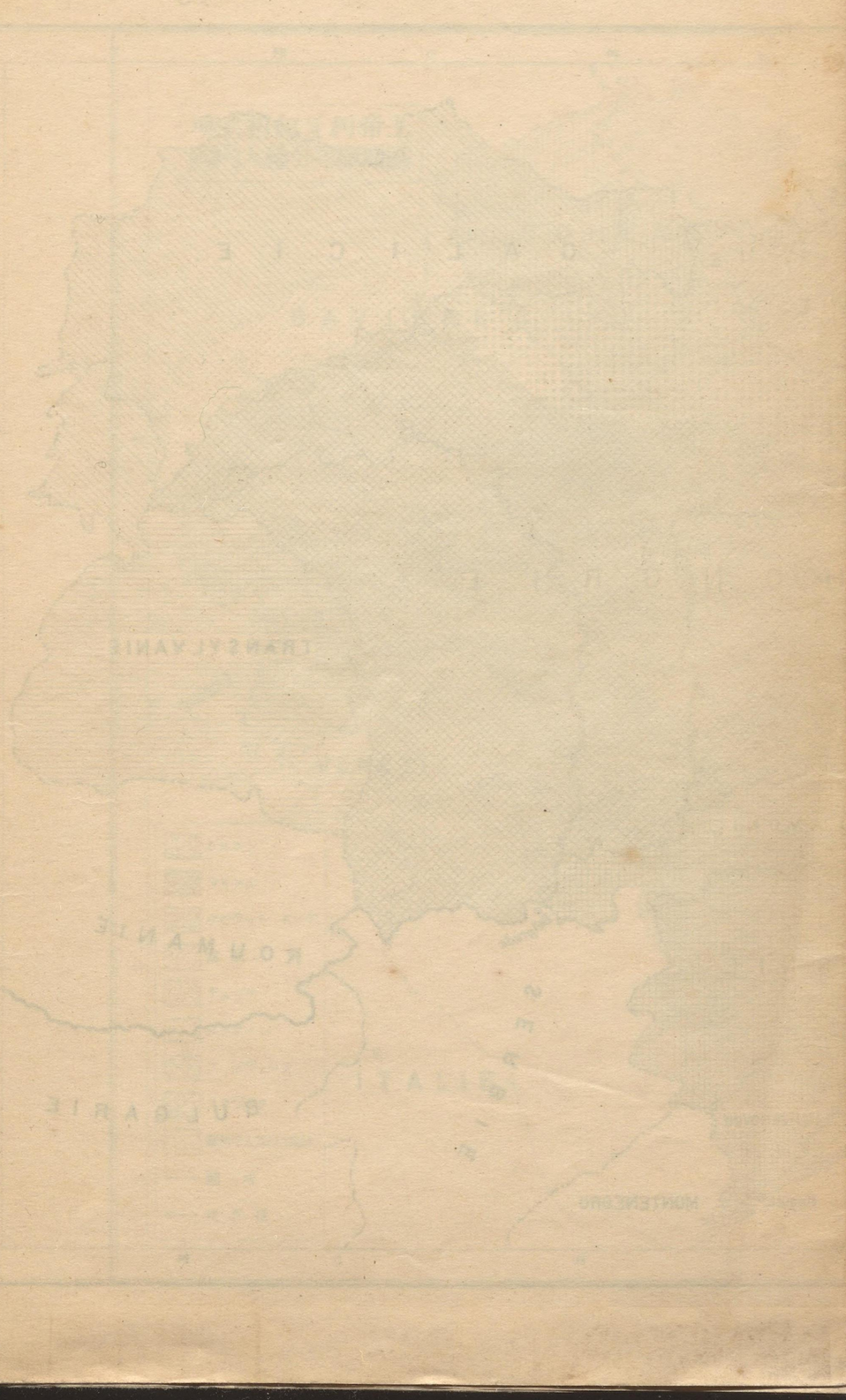
43 カムチャダール人

雜族

44 ギリャーク人　45 アイノ人　46 支那人　47 朝鮮人

墺太利匈牙利帝王國內人種分布概略圖

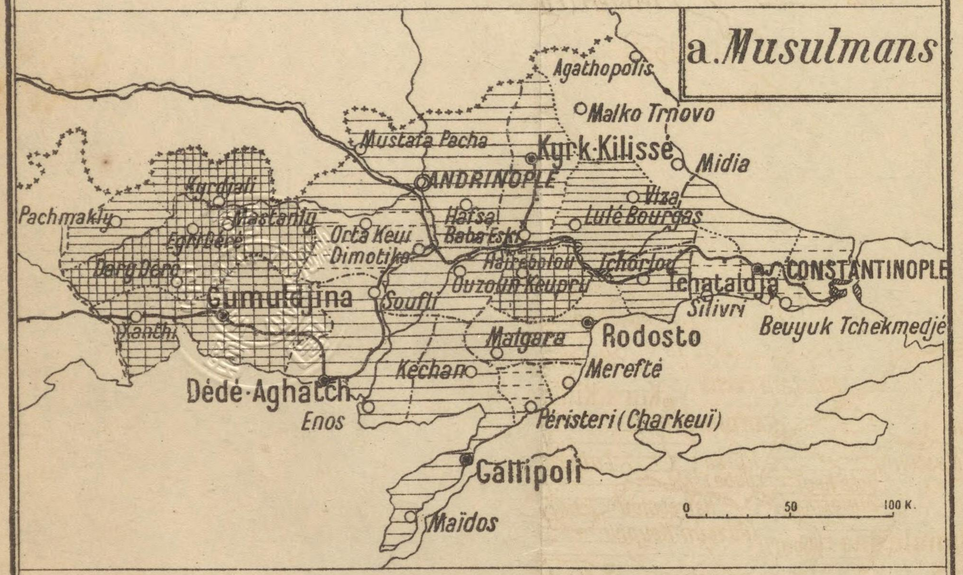
BIBLIOTECA CENTRALE



巴爾幹新國境圖
旧國境
新國境
鐵道
備考
アルバニー希臘國境は未確定
0 50 100 kil
AUTRICHE
SERBIE
ROUMANIE
BULGARIE
TURQUIE
GRECE
ALBANIE
MONTENEGRO
MER ADRIATIQUE
MER IONIENNE
MER EGÉE
MER NOIRE
MER DE MARMARA
ITALIE
Bucarest
Craïova
Constanza
Silistrie
Turtukai
Mangalia
Giurgevo
Ruchtchuk
Dobrith
Baltchik
Varna
Chumla
Razgrad
Sistov
Nikopoli
Plevna
Tirnovo
Danube
Negotin
Vidin
Lom Palanka
Nich
Pirot
Berkovitsa
Tsaribrod
Sofia
Kœstendil
Tatar Bazardjik
Tchirpan
Philippopoli
Maritsa
Haskeui
Mustafa Pacha
Andrinople
Kirk Kilise
Midia
Rezvaja
Arda
Pachmakli
Dimotika
Lüle Burgas
Constantinople
Scutari
Ergena
Rodosto
Gumuldjina
Porto Lagos
Sarisaban
Dedeaghatch
Enos
Gallipoli
I. Samothrace
I. Thasos
I. Imbros
I. Lemnos
I. Tenedos
I. Strati
I. Mytilène
Sporades
Volo
Larissa
Trikkala
Karditza
Arta
Janina
Metzovo
Corfou
I. Corfou
I. Othonous
I. Paxos
Otrante
Argyrokastro
Selfidje
Veria
Kastoria
Salonique
Orfano
Nigrita
Cavalla
Seres
Demir Hissar
Drama
Doiran
Guevgueli
Monastir
Vodena
Florina
Koritza
Berat
Valona
I. Sasemi
Elbasan
Durazzo
Dibra
Prilip
Strouga
Okrida
L. Okrida
L. Presba
Prizrend
Uskub
Kœprulu
Ichtip
Petchovo
Radovitza
Stroumitza
Nevrokop
Djoumaia
Kotchana
Kumanova
Egri Palanka
Prichtina
Diakova
Ipek
Plava
Gousinie
Podgoritsa
Cettigne
Nikchitch
Novibazar
Mitrovitsa
Cattaro
Antivari
Dulcigno
Scutari
Oroghi
Alessio
Ruguse
Serajevo
Uchitse
Kraguievats
Valiévo
Morava
Vardar
Drin
Semeni
Voioutsa
Vistritsa
Strouma
Mesta ou Kara Sou
Bela Plan
Meglenia
Bosphore

トラス(スレシア フラキア)人
b. Bulgares
c. Grecs
Midia
Tchataldja
CONSTANTINOPLE
Silivri
Beuyuk Tchekmedjé
Mustafa Pacha
ANDRINOPL
Pachmakly
Kyrdjali
Mastanly
Orta Keui
Dimotika
Haïsa
Baba Eski
Dary Déré
Gumuldjina
Soufli
Kechan
Dédé-Aghatch
Enos
Maïdos
10 % 以下
10 % 乃至 24 %
25 % 乃至 49 %
50 % 乃至 74 %
75 % 乃至 89 %
90 % 以上
0 50 100 K.
G. Huré.

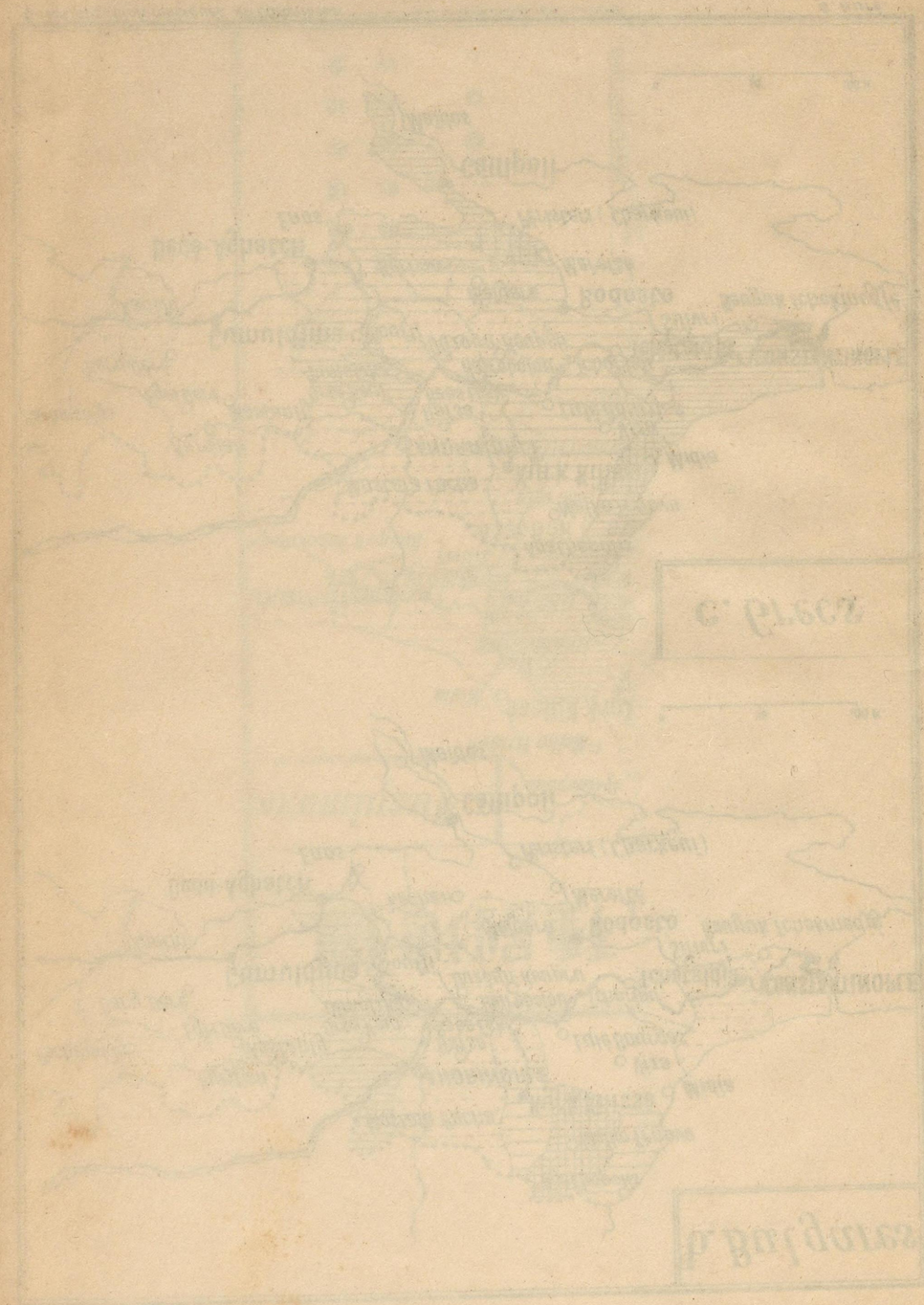
トラス(スレシア フラキア)人種別地圖

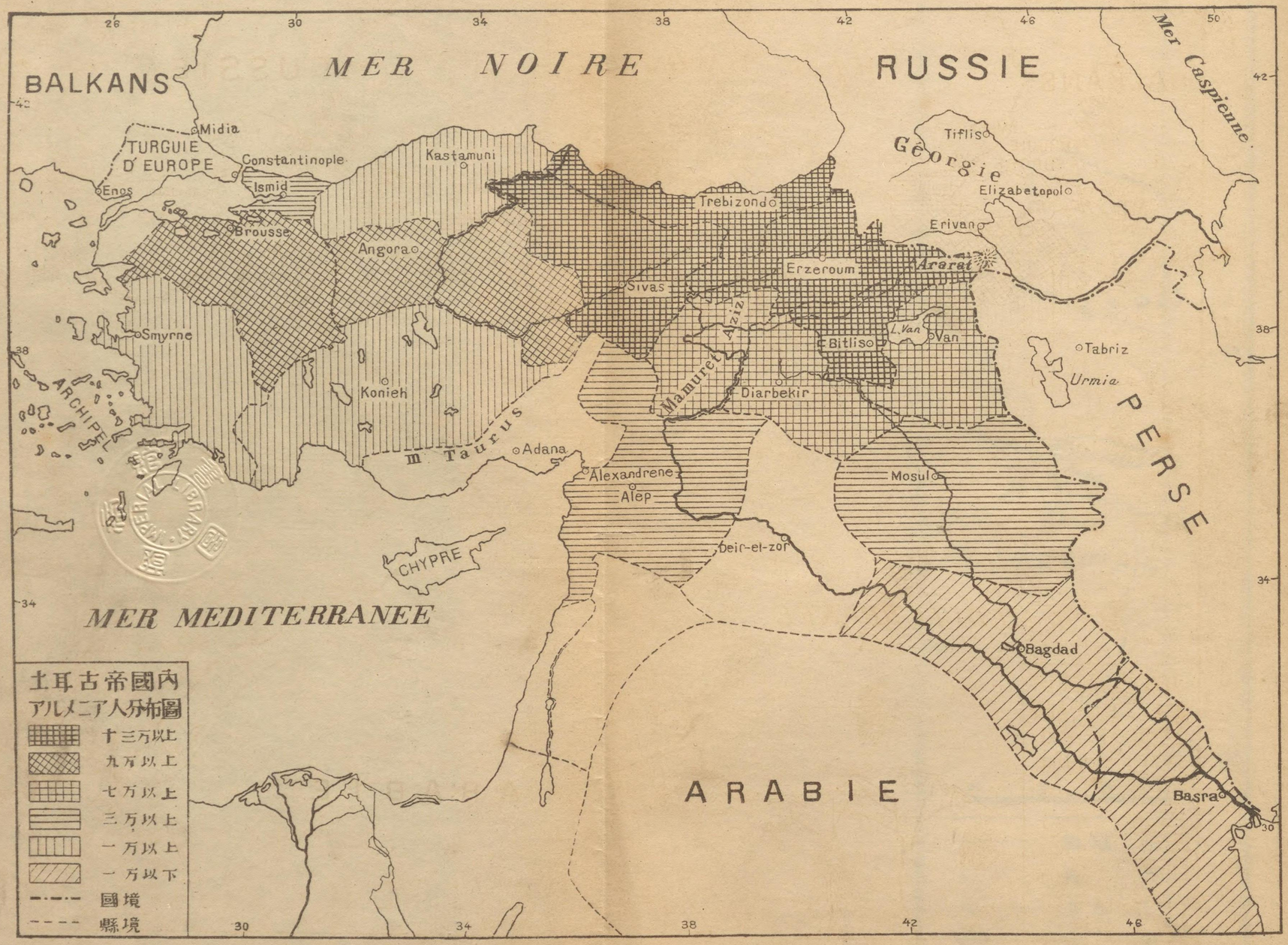


10 % 以下	10 % 乃至 24 %	25 % 乃至 49 %	50 % 乃至 74 %	75 % 乃至 89 %	90 % 以上

+++++++ 國 境
------- 縣 境
—·—·—· 郡 境
◎ 縣 都
◎ 郡 都
○ 鄉 都

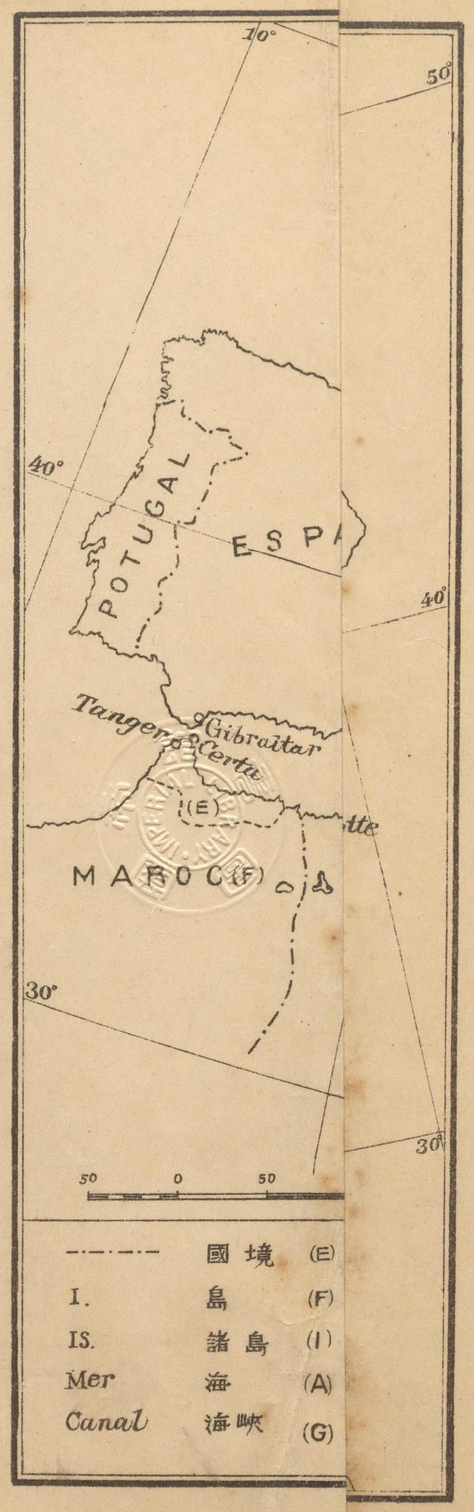
Questions Diplomatiques et Coloniales. G. Hurè.





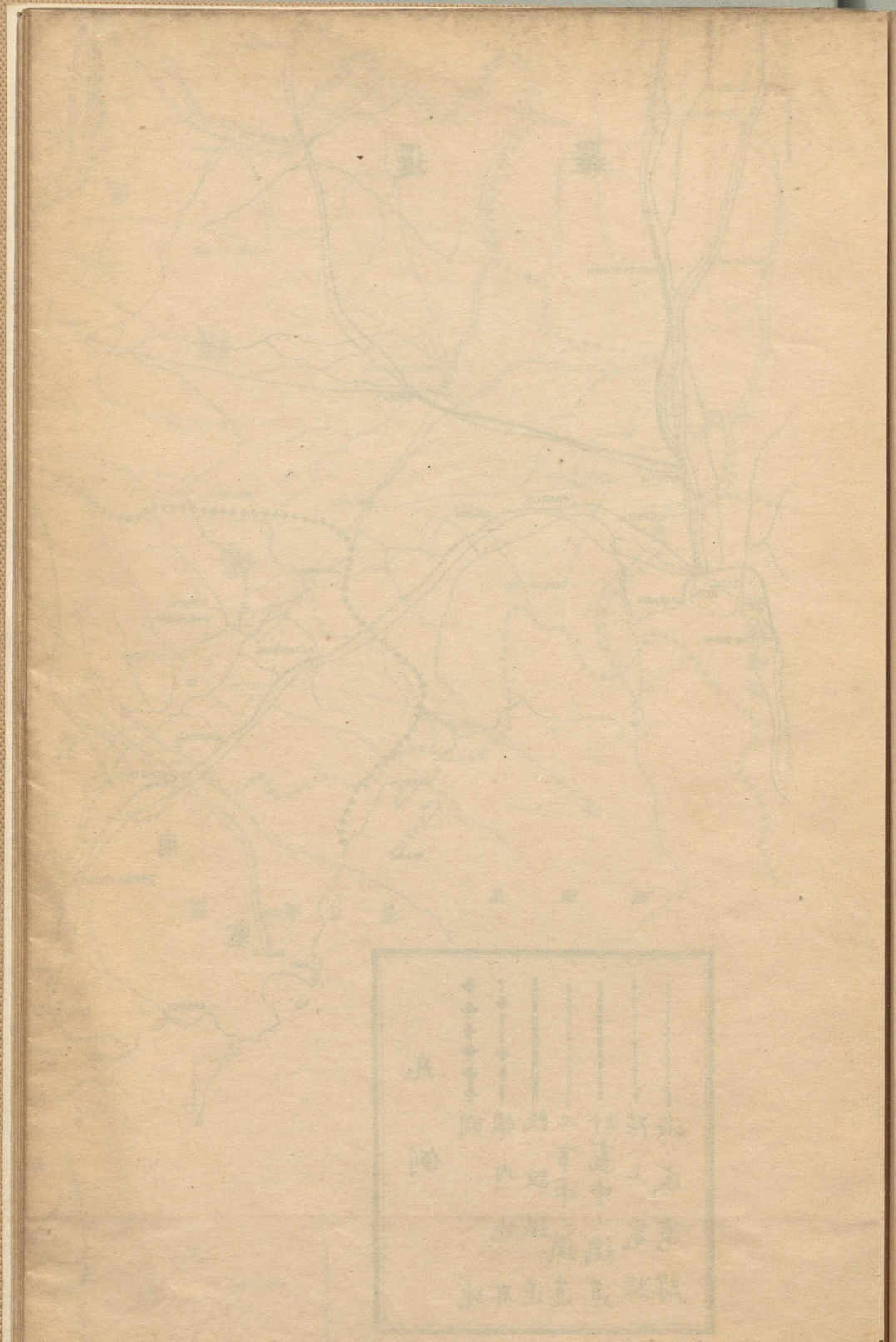
土耳古帝國內
アルメニア人分布圖

十三万以上
九万以上
七万以上
三万以上
一万以上
一万以下
國境
縣境


10°
5°
40°
POTUGAL
ESPA
40°
Tanger
Gibraltar
Ceuta
(E)
MAROC (F)
30°
30°
50 0 50
國境 (E)
I. 島 (F)
IS. 諸島 (I)
Mer 海 (A)
Canal 海峽 (G)

地中海沿岸圖

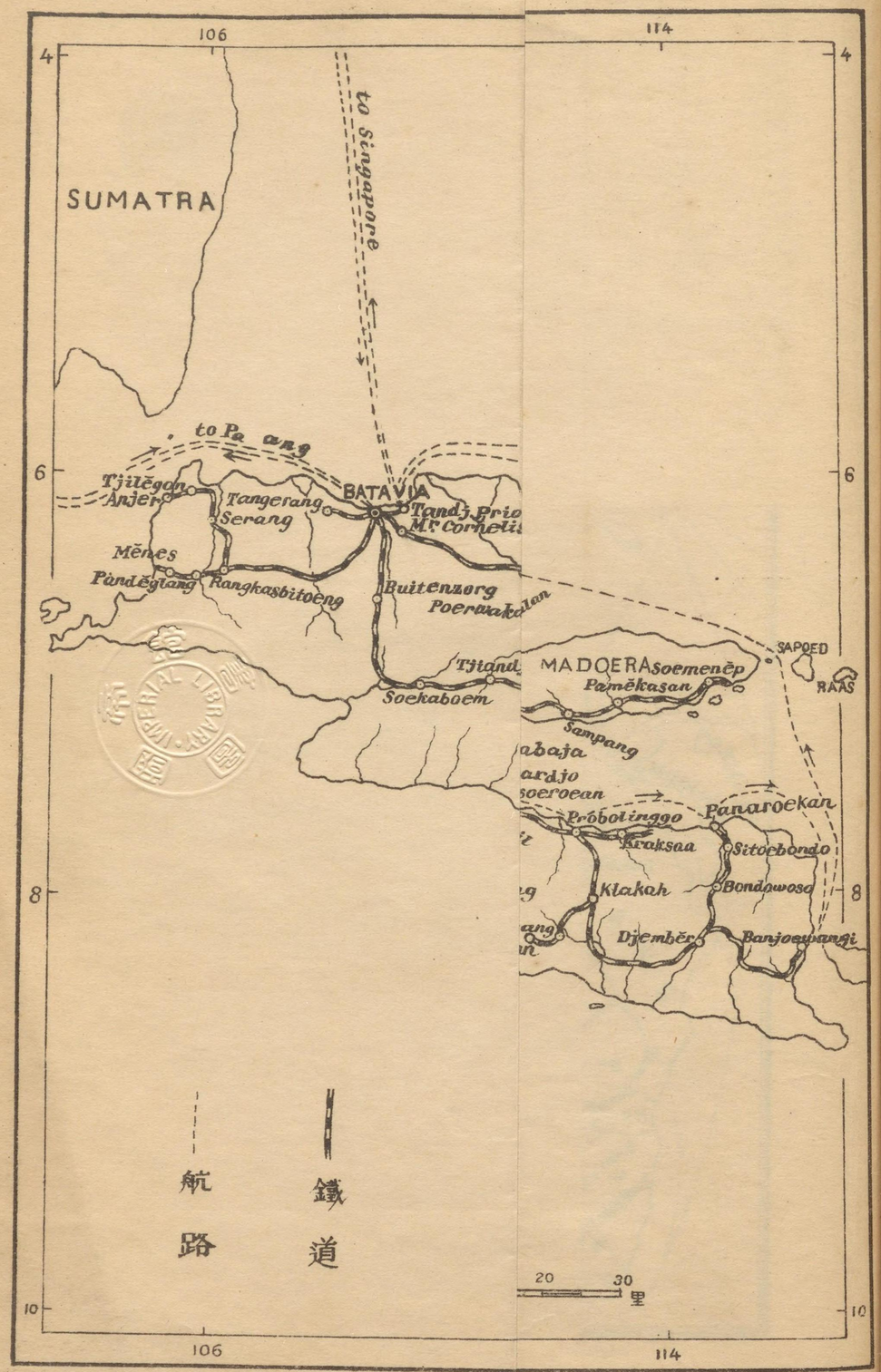
10°
0°
10°
40°
50°
40°
30°
FRANCE
AUTRICHE HONGRIE
Trieste
Croatie Dalmatie
Marseille
Toulon
Gênes
ITALIE
Adriatique
MER NOIRE
BALKANS
Constantinople
Salonique
Valone
Otrante
ESPAGNE
POTUGAL
Is. Baléares
CORSE
SARDAIGNE
Rome
Bari
Brindisi
Tanger
Gibraltar
Ceuta
Bizerte
SICILE
Tunis
TUNISIE (F)
Malte (A)
MAROC (F)
ALGERIE (F)
CRÈTE (G)
Rhodes
CYPRE (A)
ASIE MINEURE
Alexandrette
SYRIE
Béirout
Jérusalem
Derna
Benghasi
Tobrouk
Alexandrie
Suez
Le Caire
Tripoli
TRIPOLITAINE (I)
CYRENAIK (I)
EGYPTE (A)
50 0 50 100 150里
國境 (E) 西班牙勢圈
I. 島 (F) 佛蘭西領
IS. 諸島 (I) 伊太利領
Mer 海 (A) 英領並勢圈
Canal 海峽 (G) 希臘領



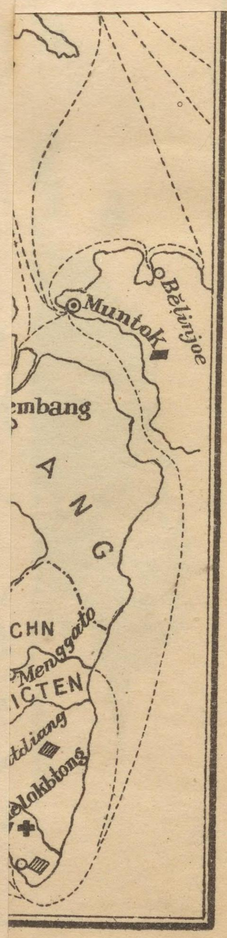
佛領印度支那

雲南省
廣西省
廣東省
廣州灣租借地
海南島
英領緬甸
佛領印度支那
東京灣
東京
老
安
羅
暹
Ha-Giang
CAO-BANG
TUYENQUANG
Nuchon
Dong-Dong
Lai-Chau
VANBU
YEN-BAY
DIENBIEN Phu
MUONG SING
M.HUA
VIE-TRY
BAC-NINH
DAP-CAU
SONTAY
SEPT-PAGODES
HAIDUONG
Hungyen
Phu-Lien
PHULY
NAM-DINH
NINH-BINH
THANH-HOA
MONCAY
Dinh Lap
Anchon
Tienyen
Kebao
Cowbak
Hongyen
Courbere
Along
Lam
Vanyen
M.NGOI
SAM NUA
CHUBO
VIENPOU KHA
Houei Sui
CHIEN SEN
LUANG-PRABANG
CHENG MAI
XIENG KHOUANG
P.Dien
VINH
M.BORIKAN
Nan
Paklay
PRE
VIEN-CHAN
NONG KHAY
BANGDALD
Sawan Kalok
KAMPAUAPI
RAHENG
NAKON-SAWAN
QUANG BINH
QUANGTRI
M.TCHEPON
Savanaket
M.Song khan
TOURANE
QUANG-NAN
M.KAN-TONG-IAI
N
1
2,500,000

1
2,500,000
暹羅
安度
支那
南支那
東南支那
交趾
海
暹羅灣
RAHENG
NAKON-SAWAN
AYOUTIA
PETRIU
PRACHIN
KRABIN
BANG-KOK
PAKNAM
PETCHA-BOURI
KHORAT
OUBON
Savanaket
M. Song khan
M. TCHEPON
QUANGTRI
TOURANE
QUANG-NAN
QUANG-NGAI
M. KAN-TONG-IAI
BASSAC
B. Mouong
M. ATTOPEU
KHONG
MELOUPREY
STUNGTRENG
Binh Dinh
Quinhon
PHU YEN
Cap Varella
Hon-Cohe
KHANH HOA
Nha Trang
Lang Biang
Cam-Rank
Phan Rang
Cap Padaran
BINH THUAN
PHAN TIET
Pte Kega
Tanh Linh
BAOCHAN
BIEN-HOA
Long Thanh
Baria
St Jacques
Saigon R.
Dong Nai R.
Vaico R.
Ben Keou
TAINING
KPATIC
Sitophong
Ang Kor
SIEMREAP
BATAMBANG
PURSAT
KOMPONG CHAN
KRAT
Koh Kat
PNOM-PENH
BANAM
SAMIT
KAMPOT
CHAU-DOC
HATIEN
LONG-XUYEN
RACH-GIA
CANTHO
VINH-LONG
BENTRE
MY-THO
CHOLON
TRA-VINH
SOC-TRANG
BAC-LIEU
CAMAU
Poulo-Contor
凡例
國領既工事中設內
境界道鐵道
計畫中ノ鐵道
陸上電線
海底電線


106
114
4
6
8
10
SUMATRA
to Singapore
to Pa ang
Tjilēgon
Anjer
Tangerang
Serang
BATAVIA
Tandj Prio
M.r Cornelis
Mēnes
Pandēglang
Rangkasbitoeng
Buitenzorg
Poerwakalan
SAPOEED
RAAS
MADOERA
Soemenēp
Pamēkasan
Soekaboem
Sampang
Panaroekan
Próbolinggo
Kraksaan
Sitoebondo
Klakah
Bondowoso
Djembēr
航路
鐵道
20
30
里

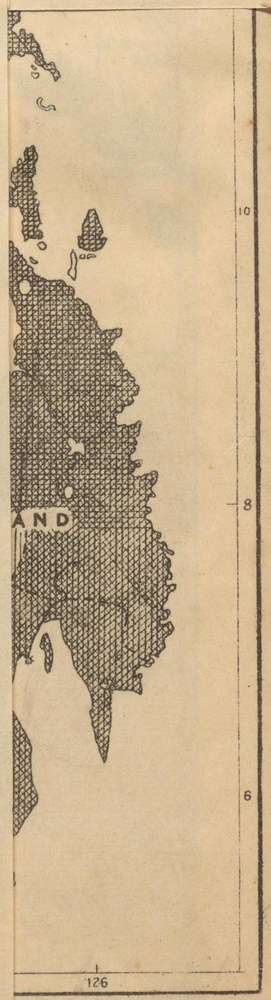
ジャヴァ交通圖
SUMATRA
to Singapore
to Pa ang
BATAVIA
Tjilēgon
Anjer
Tangerang
Serang
Tandj Priok
Mr Cornelis
Mēnes
Pandēglang
Rangkasbitoeng
Buitenzorg
Poerwakarta
Indramajoe
Cheribon
(Tjirebon)
Soemēdang
Tjiandjoer
Soekaboem
Bandoeng
Madjalengka
Tjibatoe
Koeningan
Brēbēs
Tēgal
Bolapoelang
Garoet
Tasikmalaja
Tjilamis
Poerwakērta
Poerbalingga
Bandjarnēgara
Banjoemas
Temanggoeng
Tjilatjap
Maos
Poerworedjo
Pēngasih
Pēngasih
Djok
Wonosari
Patjitan
Pemalang
Pēkalongan
Batang
Semarang
Kendal
Djapara
Pati
Tajoe
Rembang
Lasm
Koedoes
Blora
Poerwodudi
Salatiga
Bojolali
Soerakarta
Ngaw
Magetan
Madioen
Ponorogo
Toeloengagoeng
Kēdiri
Pesante
Blitar
Ngandjoek
Djombang
Madjokērto
Malang
Loemadjang
Pasirian
Bangil
Pasoeroean
Sidoardjo
Soerabaja
Lamongan
Grise (Gresik)
Bodjonēgoro
Tjepoe
Toeban
Bangkalan
MADOERA
Soemenēp
Pamēkasan
Sampang
SAPOED
RAAS
Próbolinggo
Kraksaa
Panaroekan
Sitoebondo
Bondowoso
Klakah
Djembēr
Banjoewangi
航路
鐵道
0 10 20 30 里
106
108
110
112
114
4
6
8
10

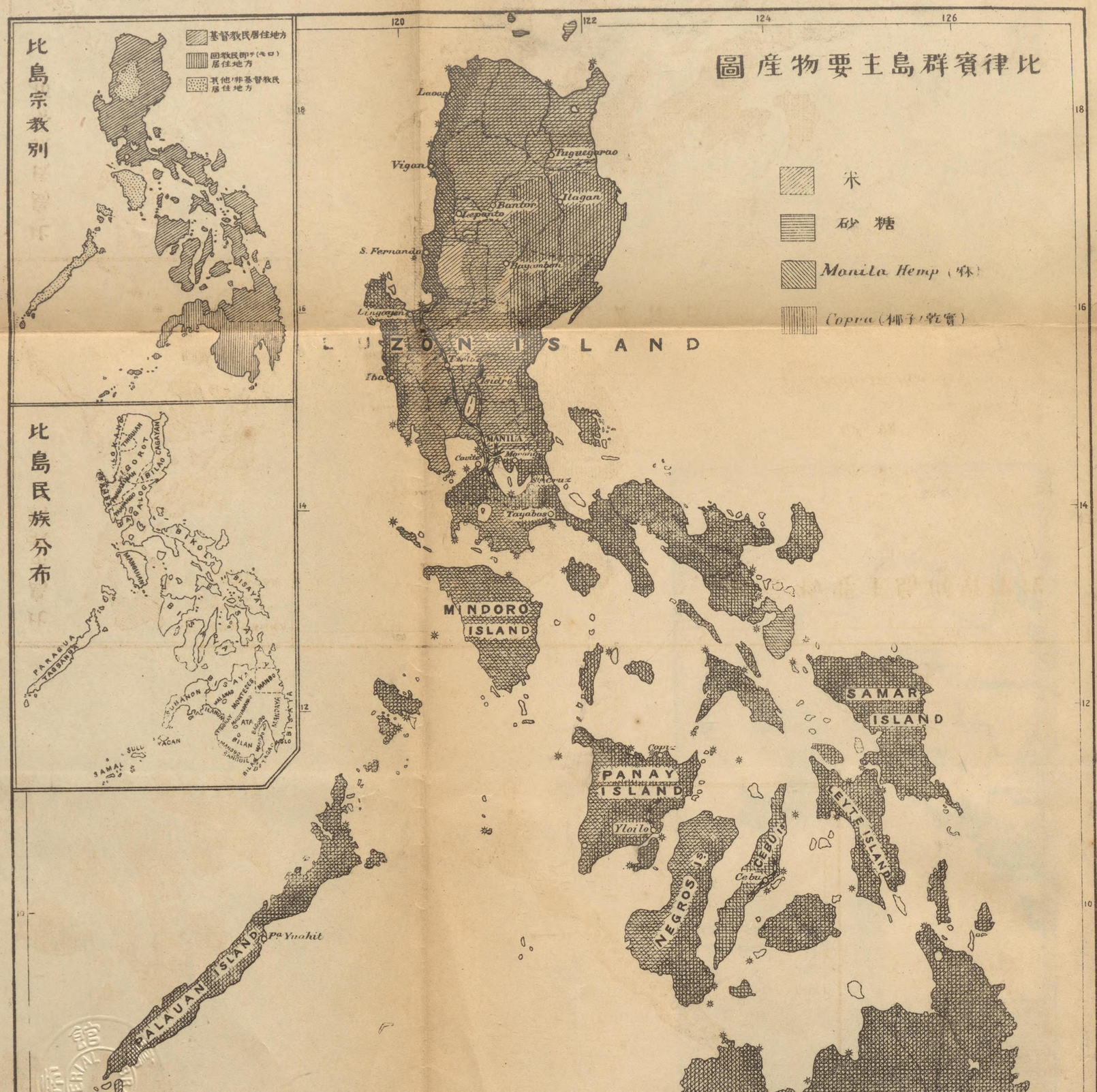

Muntok
Bělinjoe
embang
A N G
CHN
Menggato
ICTEN
Lokbtong

圖産物ラトマス

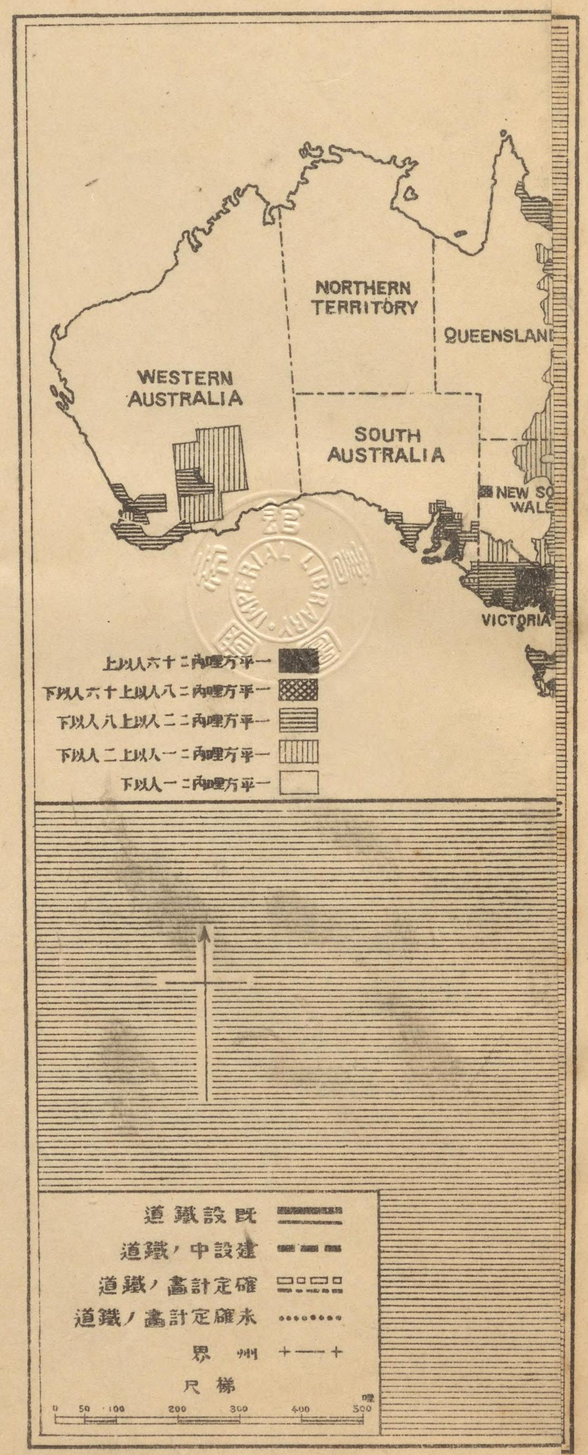
Sabang
Oeleëlheue
Koetaradja
Sigli
Bireuën
Lhoseumawe
Tjalanc
ONDERHOORIGHEDEN
Meulaboh
Idi
Langsar
Koealasimpang
Pangkalanbrandan
Peiawan
Medan
Bindjaidja
Tebingtingg
Tapatoean
Roendeng
TOBAM
Ps Siantar
Samosir
Kisaran
Tandiobngbalai
Oeiakmedan
Singkëi
P.Simeuloe
Sinabang
BANJAK-EILANDEN
Baroes
Balige
Panai
Sbolga
Goenoengstoli
P.Nias
Rasau
Padangsidimpoean
TAPANOELI
OOSIKUST
Panjaboengan
Lagoendi
Bawelowalani
Najat
Ajeroangis
YAN
Pakanbaroe
Tambang
Pëiaiawan
Poeloeteu
BATOEEILANDEN
PADBENEDENL
BADANGSCH
F.deKock
SUMATRA
Priaman
Taloëk
RIOUW EN ONDERHOORIGHEDEN
SUMATRA'S
Solok
Padang
P.Siberdel
MENTAWEI
PADBENEDENL
Balaisalasa
DJAMBI
Moearolebo
Djambi
WESTKUST
Sanggaranagoeng
Djëiatan
Bangko
Mokko Mkko
BEHKOE
PALEMBANG
Moearoaman
Pabangoelaktandang
Moearoklingi
Kepahiang
Moealoënim
Prabae
Palembang
Muntok
Bëlinjoe
Singapore
Tandjoengpinang
P.Pinang
STRAT MALAKA
MALAKA
金
銀
コショウ
カフェー

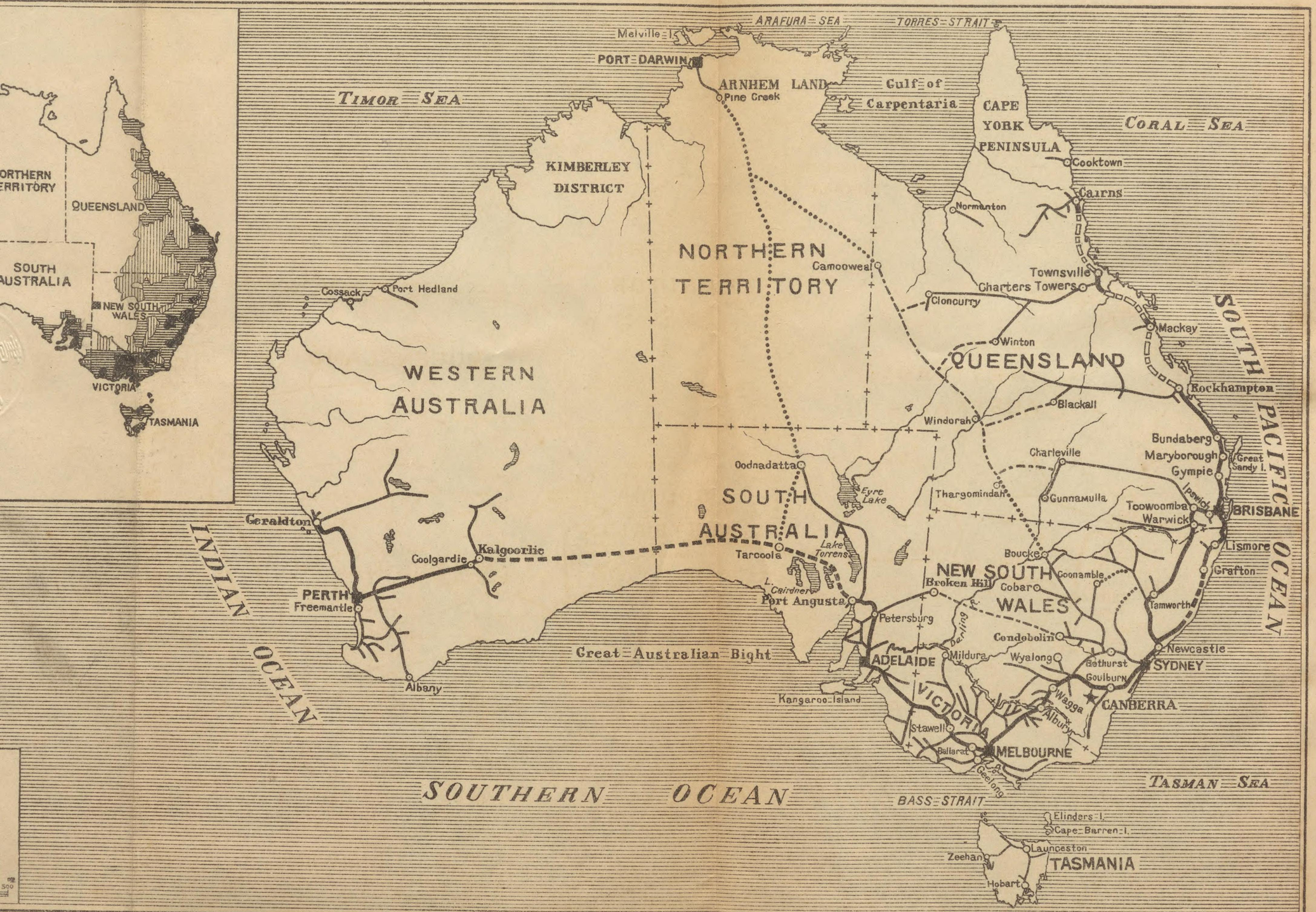
金
銀
鉄
錫
石炭
石油
コシヨウ
カフェー
烟草
護謨
有用山林叢
州廳所在地
都市
市郡境界線
鐵道
未成鐵道
南部中部スマトラ鐵道豫定線
航路
10 5 0 10 20 30 里
BANJAK-EILANDEN
BATOEEILANDEN
MENTAWEI
TAPANOELI
OOSIKUST
YAN
BADANGSCH
SUMATRA
RIOUW EN ONDERHOORIGHEDEN
SUMATRA'S
WESTKUST
PADBENEDENL
DJAMBI
PALEMBANG
BEHKOELEN
IA
ONGSCHN DISTRICTEN
Medan
Tebingtingg
Tapatoean
Roendeng
Singkĕi
Baroes
Balige
Sbolga
Goenoengstoli
P.Nias
Lagoendi
Bawelowalani
Poeloeteu
Ajeroangis
Najat
Panjaboengan
Padangsidimpoean
Rasau
Panai
Pakanbaroe
Tambang
Pĕiaiawan
F.DeKock
Priaman
Solok
Padang
Taloek
Balaisalasa
Moearolebo
Djambi
Sanggaranagoeng
Djĕiatan
Bangko
Mokko Mkko
Moearoaman
Moearoklingi
Pabangoelaktandang
Kepahiang
Tanbjoengeran
Moealoenim
Praboe
Molih
Pageralam
Banten
Baloerand
Manna
Bintoehan
Moearodoeo
Kotoboemi
Menggato
Kroe
Kotoagoeng
Rantautdiang
Telokbtong
Palembang
Muntok
Bĕlinjoe
Singapore
Tandjoengpinang
Kisaran
Tandiobngbalai
Oeiakmedan
Samosir
Pangkalanbrandan
Bindjaidja
Pezau
P.Simeuloe
Sinabang

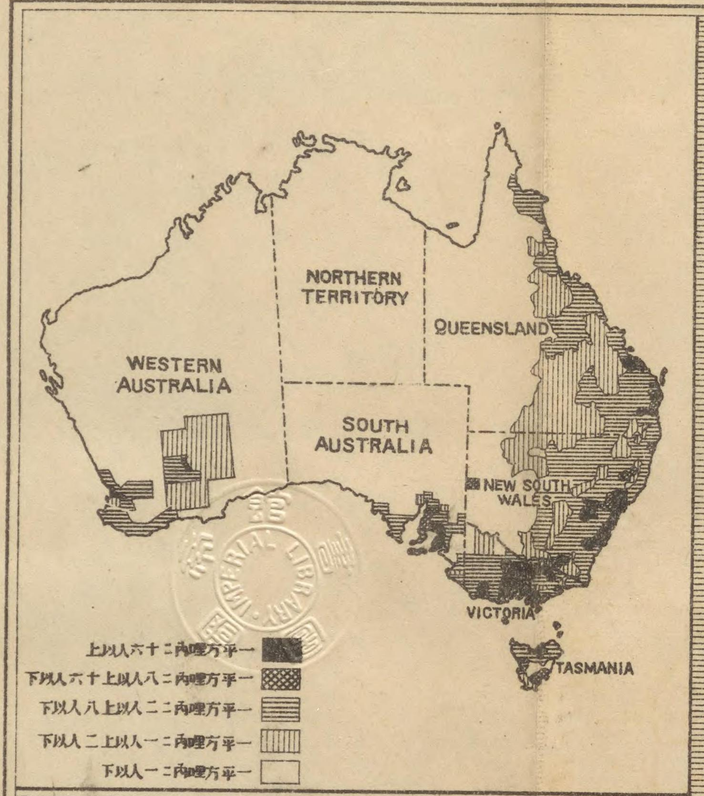

10
8
6
126
AND

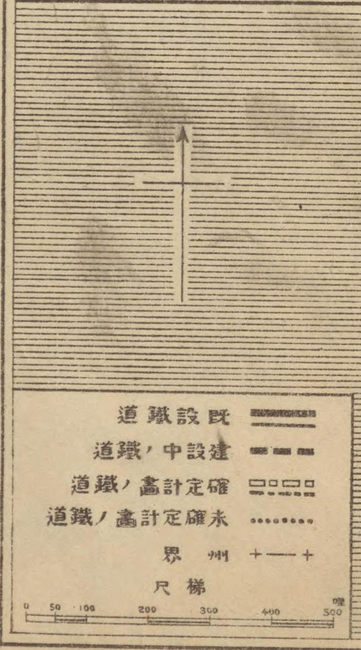

比律賓群島主要物産圖
米
砂糖
Manila Hemp (麻)
Copra (椰子ノ乾實)
比島宗教別
基督教民居住地方
回教民即チ(モロ)居住地方
其他ノ非基督教民居住地方
比島民族分布
LUZON ISLAND
MINDORO ISLAND
PANAY ISLAND
SAMAR ISLAND
LEYTE ISLAND
NEGROS IS.
CEBU IS.
PALAUAN ISLAND
Laoag
Vigan
Tuguegarao
Ilagan
Bantor
Lepanto
S. Fernando
Bayambon
Lingayen
Tarlac
Iba
Isidro
MANILA
Cavite
Morong
Tayabas
Capiz
Yloilo
Cebu
Pa Yuahit
PARAGUA
TAGBANUA
BIKOL
BISAYA
SAMAL
SULU
YACAN
BILAN
MANGUIAN
MONTESES
MANBO
120
122
124
126
18
16
14
12
10

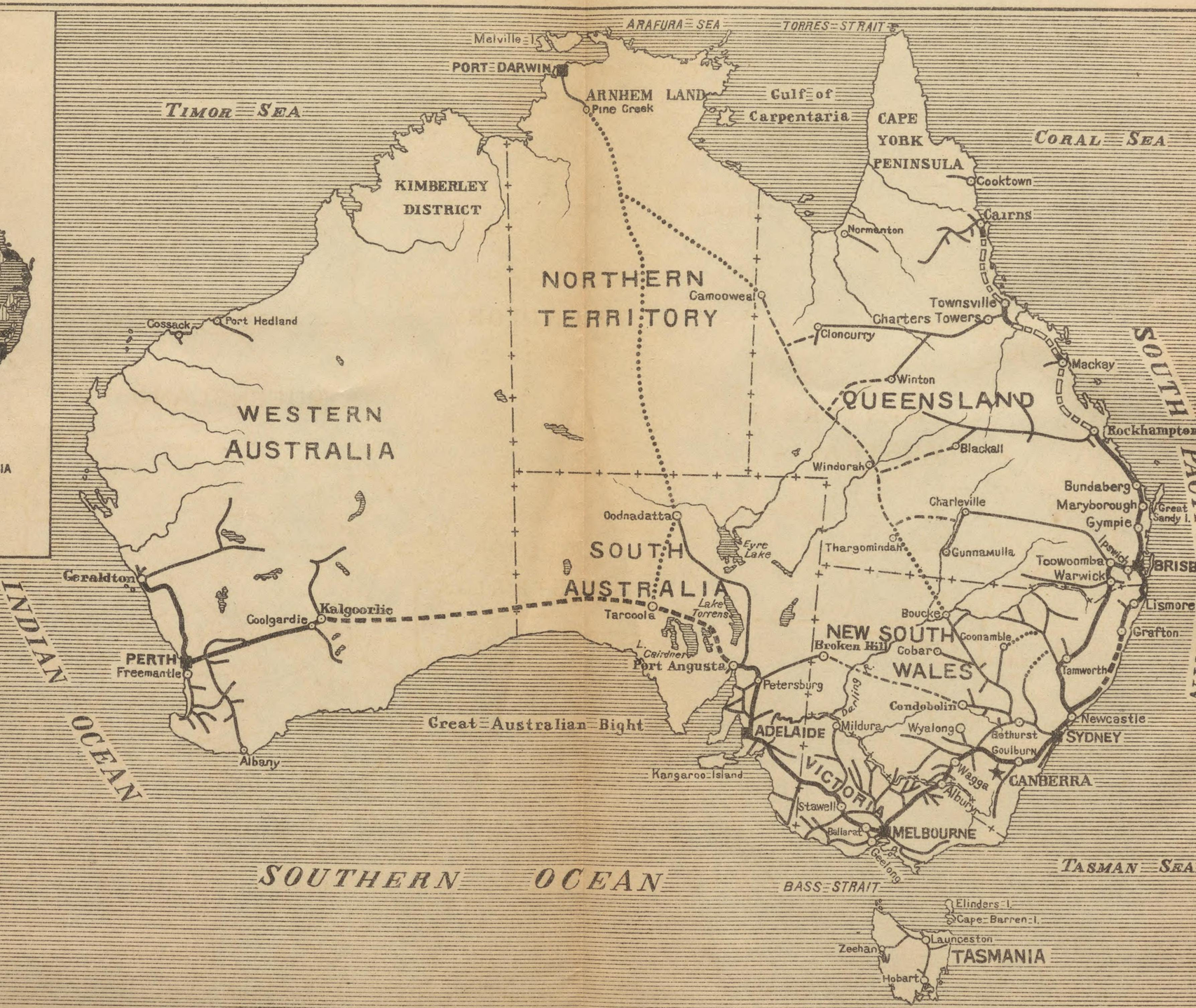
Copra (椰子ノ乾實)
LUZON ISLAND
Lingayen
Iba
Tirlo
Isidro
MANILA
Cavite
Morong
Tayabas
MINDORO ISLAND
SAMAR ISLAND
PANAY ISLAND
Yloilo
NEGROS IS.
CEBU IS.
Cebu
LEYTE ISLAND
PALAUAN ISLAND
Pa. Yuahit
MINDANAO ISLAND
Cottabato
BORNEO
比島民族分布
PARAGUA
TAGBANUA
SAMAL
SULU
YACAN
BISAYA
MANGUAN
BIKOL
CAGAYAN
BILAO
MANDAYA
118
120
122
124
126
6
8
10
12
14
16


NORTHERN TERRITORY
QUEENSLAND
WESTERN AUSTRALIA
SOUTH AUSTRALIA
NEW SOUTH WALES
VICTORIA
一平方哩內二十六人以上
一平方哩內二八人以上十六人以下
一平方哩內二二人以上八人以下
一平方哩內二一人以上二人以下
一平方哩內二一人以下
既設鐵道
建設中ノ鐵道
確定計畫ノ鐵道
未確定計畫ノ鐵道
界州
尺梯
0 50 100 200 300 400 500 哩


ORTHERN
ERRITORY
QUEENSLAND
SOUTH
AUSTRALIA
NEW SOUTH
WALES
VICTORIA
TASMANIA
ARAFURA SEA
TORRES STRAIT
Melville I.
PORT DARWIN
TIMOR SEA
ARNHEM LAND
Pine Creek
Gulf of
Carpentaria
CAPE
YORK
PENINSULA
CORAL SEA
KIMBERLEY
DISTRICT
Cooktown
Cairns
Normanton
NORTHERN
TERRITORY
Camooweal
Townsville
Charters Towers
Cloncurry
Mackay
Winton
QUEENSLAND
SOUTH PACIFIC OCEAN
Rockhampton
Blackall
Windorah
Bundaberg
Maryborough
Gympie
Great Sandy I.
Charleville
Ipswich
BRISBANE
Toowoomba
Warwick
Lismore
Grafton
Oodnadatta
Eyre Lake
Thargomindah
Gunnamulla
WESTERN
AUSTRALIA
SOUTH
AUSTRALIA
Lake Torrens
Tarcoola
Boucke
Coonamble
NEW SOUTH
WALES
Broken Hill
Cobar
Tamworth
Geraldton
Coolgardie
Kalgoorlie
PERTH
Freemantle
L. Cairdner
Port Augusta
Petersburg
Darling R.
Condobolin
Newcastle
SYDNEY
ADELAIDE
Mildura
Wyalong
Bathurst
Goulburn
CANBERRA
Wagga
Albury
VICTORIA
Stawell
Ballarat
MELBOURNE
Geelong
Great Australian Bight
Kangaroo Island
Albany
INDIAN
OCEAN
SOUTHERN OCEAN
BASS STRAIT
TASMAN SEA
Elinders I.
Cape Barren I.
Launceston
Zeehan
TASMANIA
Hobart


NORTHERN TERRITORY
QUEENSLAND
WESTERN AUSTRALIA
SOUTH AUSTRALIA
NEW SOUTH WALES
VICTORIA
TASMANIA
上以人六十二内哩方平一
下以人六十上以人八二内哩方平一
下以人八上以人二二内哩方平一
下以人二上以人一二内哩方平一
下以人一二内哩方平一


既設鐵道
建設中ノ鐵道
確定計畫ノ鐵道
未確定計畫ノ鐵道
界州
尺梯
0 50 100 200 300 400 500 哩


TIMOR SEA
ARAFURA SEA
TORRES STRAIT
Melville I.
PORT DARWIN
ARNHEM LAND
Pine Creek
Gulf of Carpentaria
CAPE YORK PENINSULA
CORAL SEA
KIMBERLEY DISTRICT
Cooktown
Cairns
Normanton
NORTHERN TERRITORY
Camooweal
Townsville
Charters Towers
Cloncurry
Mackay
Winton
QUEENSLAND
Rockhampton
Blackall
Windorah
Bundaberg
Maryborough
Gympie
Great Sandy I.
Charleville
Thargomindah
Gunnamulla
Toowoomba
Warwick
Ipswich
BRISBANE
Lismore
Grafton
Tamworth
Coonamble
Cobar
Broken Hill
NEW SOUTH WALES
Boucke
Oodnadatta
Eyre Lake
SOUTH AUSTRALIA
Lake Torrens
Tarcoola
L. Cairdner
Port Augusta
Petersburg
Darling
Condobolin
Mildura
Wyalong
Bathurst
Goulburn
Newcastle
SYDNEY
CANBERRA
Wagga
Albury
ADELAIDE
VICTORIA
Kangaroo Island
Stawell
Ballarat
MELBOURNE
Geelong
Cossack
Port Hedland
WESTERN AUSTRALIA
Geraldton
Coolgardie
Kalgoorlie
PERTH
Freemantle
Albany
Great Australian Bight
INDIAN OCEAN
SOUTHERN OCEAN
TASMAN SEA
BASS STRAIT
Elinders I.
Cape Barren I.
Launceston
Zeehan
Hobart
TASMANIA

大正二年十月十九日印刷納本
大正二年十月廿四日發行

國際關係地圖奧附
（定價金八拾錢）

著作兼發行者　大庭景秋　東京市赤坂區青山南町三丁目五十三番地

印刷者　鐘江文雄　東京市本所區北二葉町三十二番地

印刷所　榮光社印刷所　東京市本所區北二葉町三十二番地

發行所　外交時報社　東京青山　電話芝四七一五番　振替口座東京六〇二〇番

賣捌所　東京神田　東京堂
東京京橋　有斐閣
元數寄屋町　北隆館
東京神田　東京堂
東京京橋　有斐閣
尾張町　東海堂

不許複製

國發圖裂出版會社

（定價金八拾錢）

大正十二年十月十八日印刷發行

大正十二年十月廿四日發行

著作兼發行者　明治神宮

印刷者　東京市本鄉區春日町三丁目十五番地

印刷所　文江社

東京市本鄉區三組町二十三番地

發行所　代々木神社

東京市代々木神園町一番地

電話牛込（二）一五番

郵便振替東京二〇〇番

不許複製

賣捌所

東京神田　東京堂

東京本郷　東京朝日新聞社

東京日本橋　丸善株式會社